

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も合わせてご覧ください。



PRINTED WITH
SOY INK™

この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2002

< KKNZF/02D00000 > < CRA3391-A >

目次

はじめに

接続・取り付けチェックリスト	2ページ
接続・取り付け部品を確認する	4ページ
製品の配置	7ページ
接続の前に知ってほしいこと	8ページ
取り付けの前に知ってほしいこと	10ページ
接続端子のなまえと働き	12ページ
システムの接続	14ページ
各リード線のなまえと働き	16ページ

接続・取り付け

① 作業に必要な工具を準備する	18ページ
② バッテリー端子を外す	19ページ

③ 接続する	20ページ
④ 接続状態の確認を行う	28ページ
⑤ TVアンテナの取り付け	30ページ
⑥ GPSアンテナの取り付け	40ページ
⑦ マイクの取り付け	42ページ
⑧ 本体の取り付け	43ページ
⑨ ハイダウェイユニットの取り付け	48ページ
⑩ コード類の接続・整理・再確認	53ページ
⑪ リモコンの取り付け	56ページ

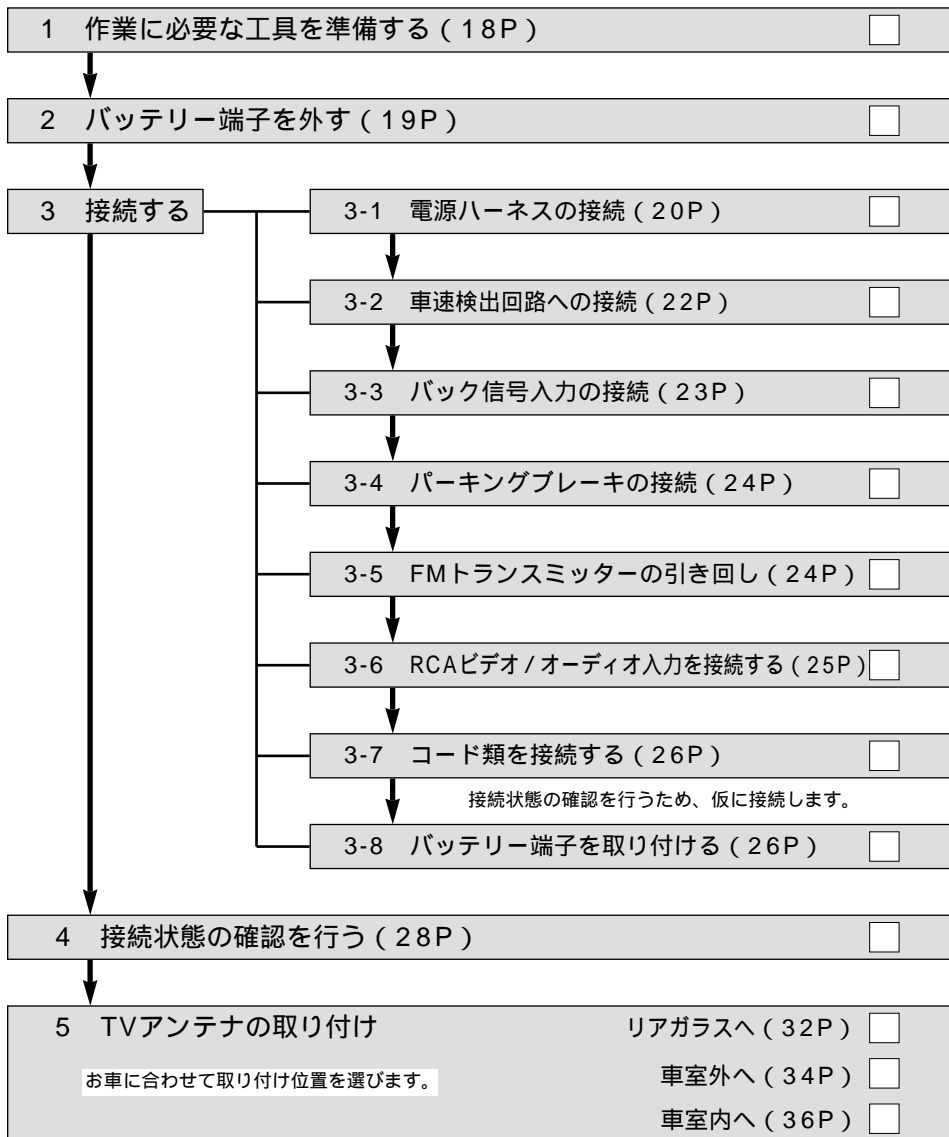
付録

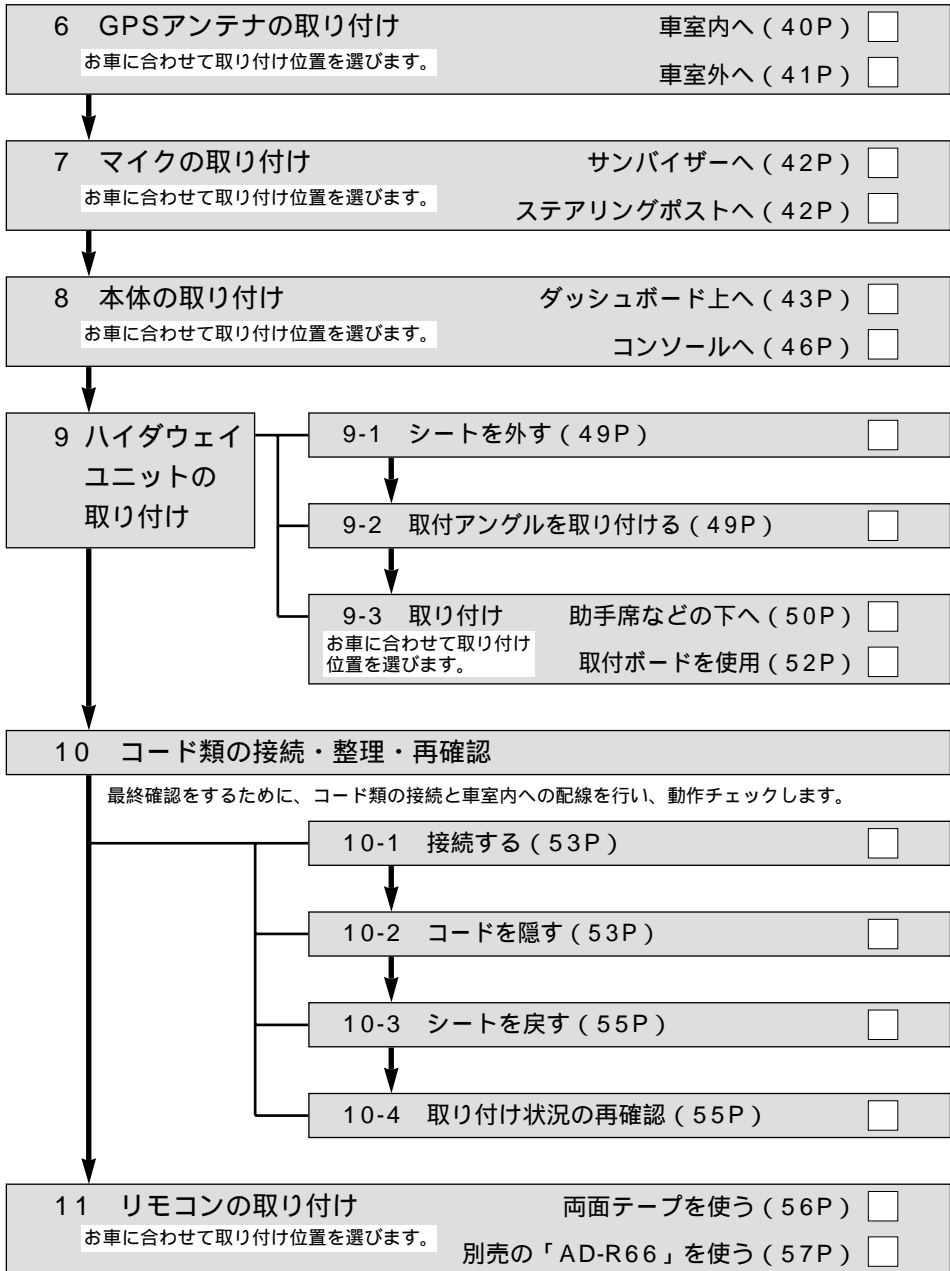
センサー学習のエラーメッセージ	58ページ
-----------------	-------

接続・取り付けチェックリスト

この取付説明書では、お客様がご自分で本機の接続・取り付けを行う場合の参考となるように手順通りに説明をしています。

接続・取り付け部品や配置の確認後、作業に入る前に、以下のチェックリストで手順を確認してください。作業が終わった項目は、右のチェック欄に印を付けていきましょう。



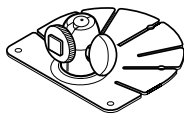


接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1



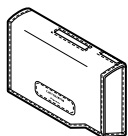
本体取付金具 × 1



スペーサー × 2



タッピングネジ
(4 × 12 mm) × 5



耐熱カバー × 1



デタッチ金具 × 1

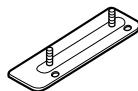
ハイウェイユニット関係



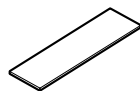
ハイウェイユニット
× 1



取付アングル × 2



取付ベース × 2



粘着テープ × 2



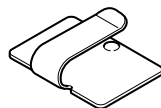
蝶ナット (6 mm) × 4



タッピングネジ
(6 × 16 mm) × 4



座付きネジ
(4 × 8 mm) × 4



クランパー × 3

GPSアンテナ関係



GPSアンテナ × 1



金属シート × 1

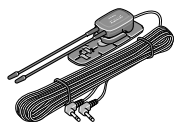


クランパー × 5



防水パッド × 1

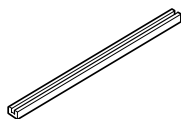
TVアンテナ関係



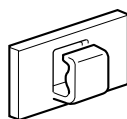
TVアンテナ
右用・左用 各1



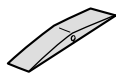
クリーナークロス×1



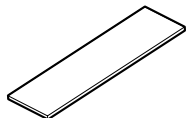
コードレール×2



クランパー×6



防水パッド×2



塗装保護シート×2



エレメント固定
ホルダー×4



六角レンチ×1

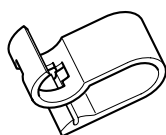


両面テープ
(25×80 mm)×2

マイク関係



マイク×1



マイククリップ×1



両面テープ
(20×16 mm)×1



クランパー×5

接続・取り付け部品を確認する

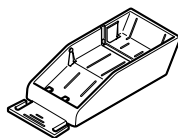
リモコン関係



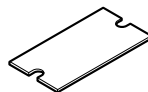
リモコン × 1



単4形アルカリ
乾電池 (LR03) × 2

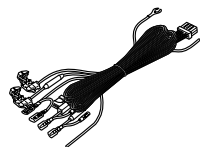


リモコンホルダー × 1

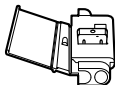


両面テープ
(57 × 34 mm) × 1

コード関係

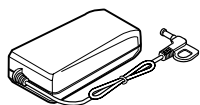


電源コード × 1

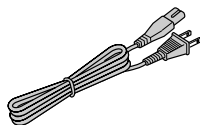


Uエレメント
コネクター × 1

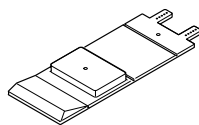
ホームキット



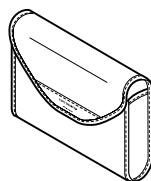
ACアダプター × 1



ACアダプター用
電源コード × 1



卓上スタンド × 1



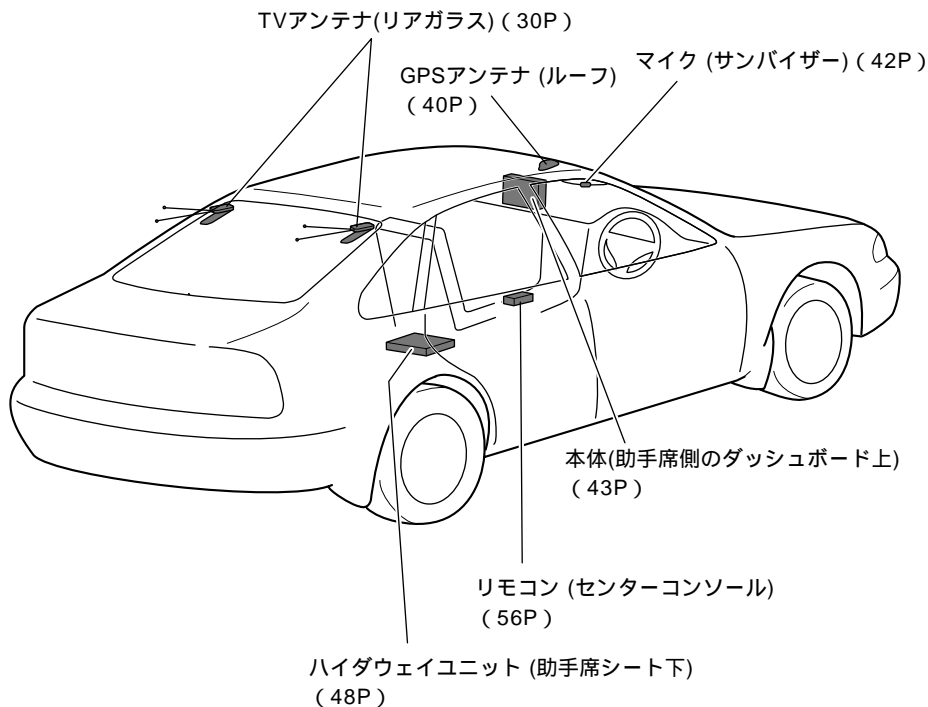
ソフトケース × 1

i ホームキット関係の部品は、本体をご家庭
でご利用になるときに使います。
詳しくは、『スタートブック』

製品の配置

下図は、本機の配置例です。

実際は、組み合わせた製品とご自分のお車に合わせて、製品を配置してください。



ご注意 電波を吸収するメタルガラス（熱線放射ガラス）を採用している車両や、金属の成分の含まれるフィルムを貼った車両の場合、通信のやりとりが正常に行われず機能しないことがあります。

i 配置場所や車種によっては、別売のトランク配線キット「AD-T1」やデータ通信アンテナ「AN-T1」、取付キットが必要になることがあります。

本機と他のナビゲーションシステム（GPS受信機）を同時に使用すると、本機のGPS受信性能に悪影響が出る場合があります。同時に使用しないでください。

GPS（Global Positioning System）アメリカの衛星を利用して自車位置を確認するシステム。3つ以上の衛星からの電波を同時に受信することで、自車位置を確認する。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車では使用できません。絶対に取り付けしないでください。取り付けると、バッテリー上がりの原因になります。

必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障などの恐れがあります。

接続のポイント

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、次のものは本体やハイダウェイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- * TVアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * ビーコン受信機およびそのアンテナコード

それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

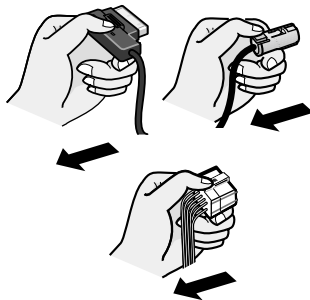
データ受信アンテナを別売しています

受信感が悪いときは、別売のデータ受信アンテナ「AN-T1」を本体に接続してお使いいただけます。「AN-T1」を車両の受信状態の良い位置に取り付けることで、本体の受信感をより改善することができます。

コネクターの着脱のしかた

コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

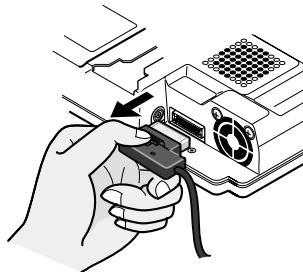
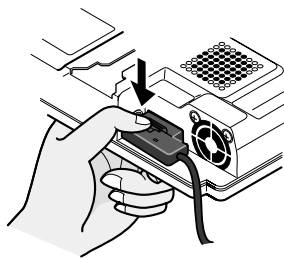
コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが破損する恐れがあります。



本体から30ピン接続ケーブルを取り外すときは

本体を押さえながらコネクタを持ち、親指でロックを押したまま手前にスライドさせます。このとき本体は両手でしっかり持って、落とさないように気をつけてください。

うまく取り外せないときは無理に引っ張らず、一度“カチッ”と音がするまで押し込んでから、もう一度試してください。



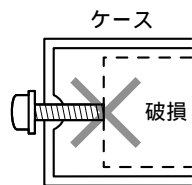
本体を押さえながら、コネクタのロックを押す。

ロックを押したまま、手前にスライドさせて抜き取る。

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに入れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。このときアンテナ類などは、受信状態の良い位置を確かめてから取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度確認してください。

粘着テープを貼り付ける前に

マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

ノイズ防止のために

TVアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。TVアンテナは、TVアンテナの取り付けの説明に従って正しく取り付けてください。(30P) FMトランスミッター用送信アンテナ(青/ピンク)をご使用の場合、FMトランスミッター用送信アンテナ(青/ピンク)の引き回しによっては、雑音が発生したり感度が悪くなる場合があります。その場合、FMトランスミッター用送信アンテナ(青/ピンク)を引き直してください。

ノイズ防止のため、次のものは本体やハイダウェイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- * TVアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * ビーコン受信機およびそのアンテナコード

それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

ハイダウェイユニットの取り付けについて

2つの取り付け方法があります

助手席下の床に取り付ける方法

粘着テープで固定するため、車を加工することなく取り付けることができますが、取り付け強度は助手席下の取付ボードに取り付ける方法に比べると弱くなります。

(50P)

助手席下の床に取付ボードで取り付ける方法

助手席下に設置した取付ボードに穴を開けて、ネジで取り付けます。しっかりと固定することができます。取付ボードは市販のものをお使いください。(52P)

取付キットを別売しています

ハイダウェイユニットをトランクに取り付ける場合は、別売のトランク配線キット「AD-T1」をお使いください。

本体の取り付けについて

2つの取り付け方法があります

ダッシュボード上に取り付ける方法

付属の取付金具を使って、車のダッシュボード上に取り付けることができます。

(43P)

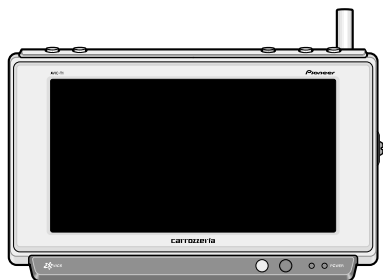
コンソールに取り付ける方法

別売の1Dサイズ取付金具「AD-V808」を使って、車のコンソールに、通常のカーステレオと同じように取り付けることができます。(46P)

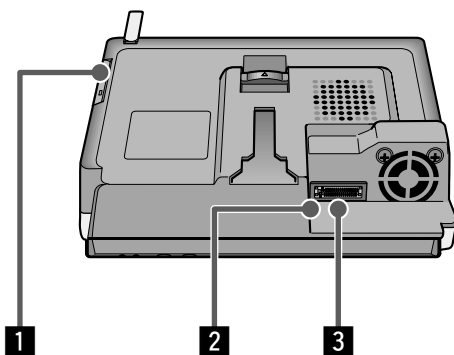
接続端子のなまえと働き

本体

(前)

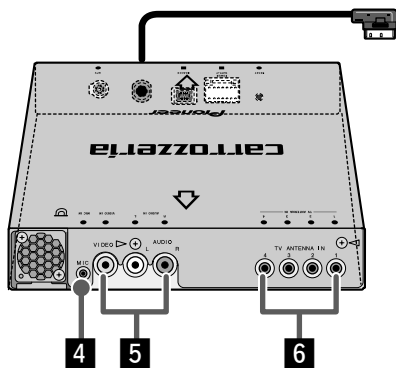


(後)

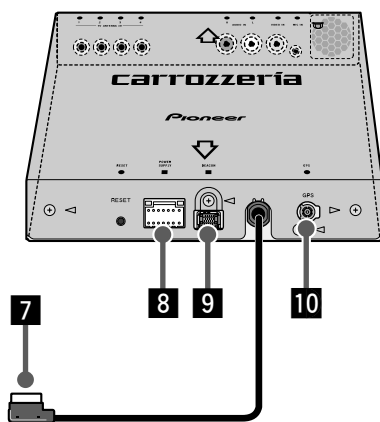


ハイダウエイユニット

(前)



(後)



1 データ通信アンテナ用端子

別売のデータ通信アンテナ「AN-T1」を接続します。

2 ACアダプター端子

本体にACアダプターをつないで、ご家庭でご利用になるときに使います。

3 30ピン入出力端子 (黒)

ハイダウェイユニットの30ピン接続ケーブルを接続します。

4 マイク入力端子 (黒)

付属のマイクを接続します。

5 RCAビデオ入力 (黄)

RCAオーディオ入力 (白・赤)

RCA出力付きポータブルビデオ、バックカメラなどを接続することができます。

6 TVアンテナ接続端子1～4 (黒)

付属のTVアンテナを接続します。1から順に接続してください。

7 30ピン接続ケーブル (黒)

本体の30ピン入出力端子に接続します。

8 電源端子

付属の電源コードのコネクターを接続します。

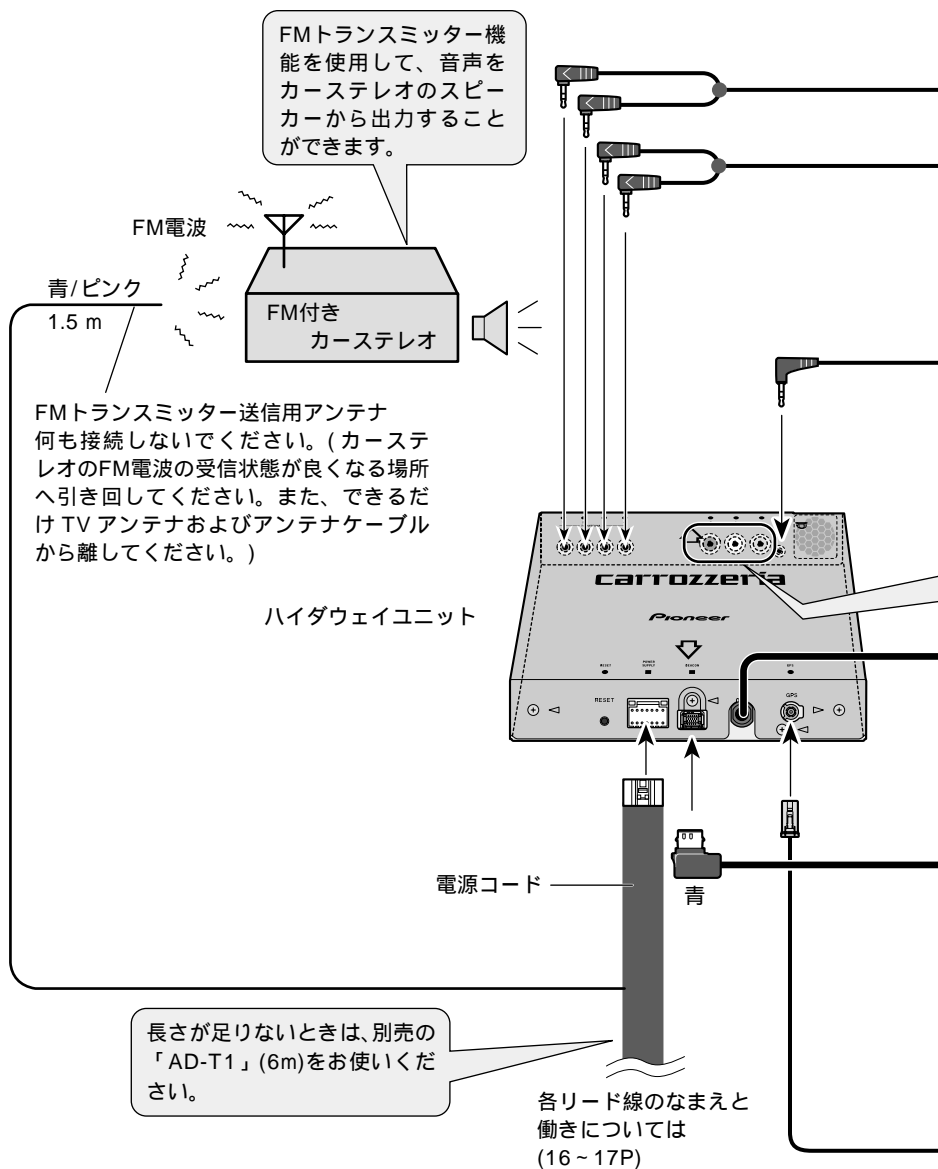
9 ビーコン受信機接続端子 (青)

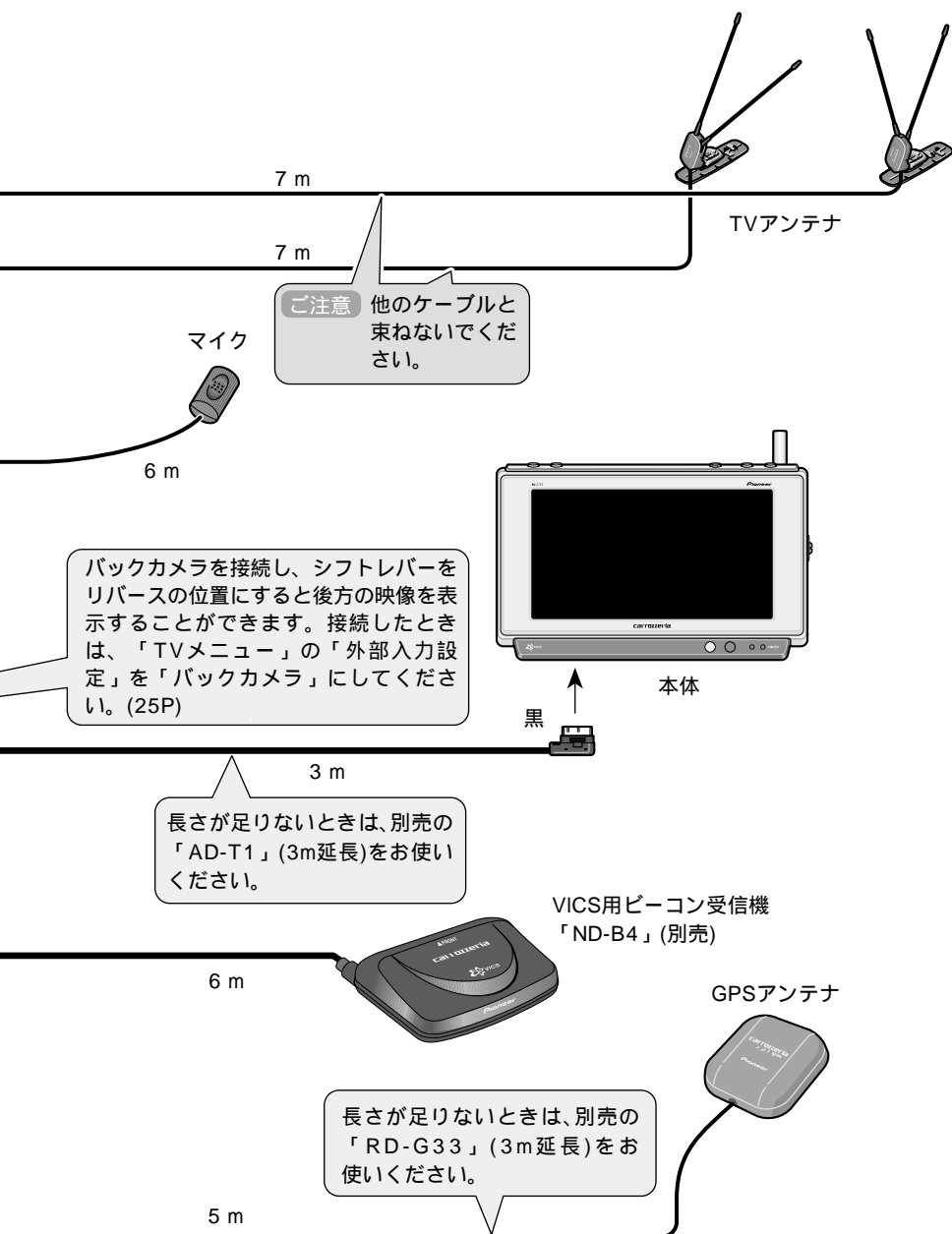
別売のVICS用ビーコン受信機「ND-B4」を接続します。

10 GPSアンテナ接続端子 (灰)

付属のGPSアンテナを接続します。

システムの接続





各リード線のなまえと働き

長さが足りないときは、別売の「AD-T1」(6m)をお使いください。

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけハイダウェイユニットの近くに接続してください。(21P)

ミュート

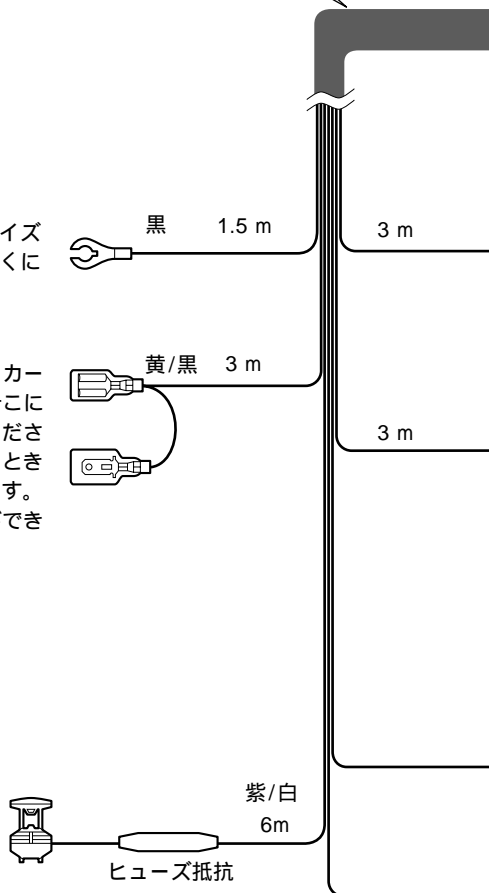
バイオニア製のカーステレオと組み合わせるときに、カーステレオに黄/黒リード線(ミュート)がある場合、そこに接続してください。ない場合は何も接続しないでください。ガイド音声が出力されるときや音声で操作するとき、カーステレオにオーディオミュートがかかります。(オーディオミュートをかける条件は変更することができます。詳しくは『ナビゲーションブック』)

バック信号入力

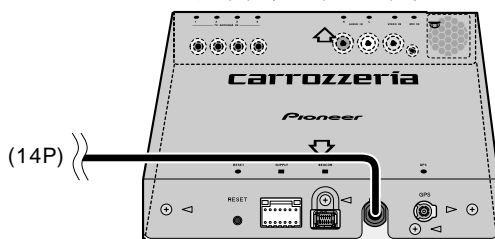
この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

接続しないと前進/後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。

バックカメラを利用する場合は、必ず接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。



ハイダウェイユニット



電源コード

ご注意 電源ハーネスを使わない場合は、赤、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

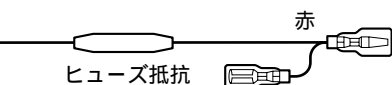
ヒューズ (7.5 A)



+ バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

ご注意 ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。



アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。
エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

ご注意 電源リード線の、ヒューズからハイダウェイユニット、およびヒューズ抵抗からハイダウェイユニットの間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

ピンク 6m



車速信号入力

車の走った距離を検出するために使用します。必ず車の車速検出回路に接続してください。(車の車速検出回路への接続が困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続することもできます。)

若草色 3m



パーキングブレーキスイッチ

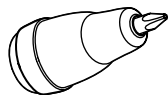
車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

1

作業に必要な工具を準備する

最初に本機の取り付けに必要な工具を準備します。

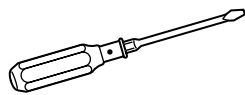
車によって使用されているビスのサイズは異なります。サイズに合った種類の工具を取りそろえておいてください。



プラスドライバー
(長さの短いもの)



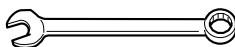
プラスドライバー
(長さの長いもの)



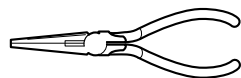
マイナスドライバー



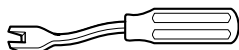
ソケットレンチ



スパナ付きメガネレンチ



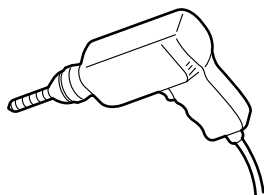
ラジオペンチ



内装はずし



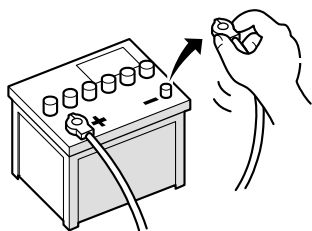
カッターナイフ



電気ドリル

このほか安全のために、必要に応じて作業用の軍手などを使用することをおすすめします。

1 バッテリーの⊖端子を外す



バッテリーの⊖端子を外すと、車に接続されている機器や車の時計などが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。もう一度、セットしなおしてください。
また、車種によっては車をお買い上げの販売店に再セットを依頼する必要があります。
事前にご確認ください。

⚠ 注意

接続・取り付けの作業中は、バッテリーの⊖端子を必ず外してください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。

3 接続する

つづく

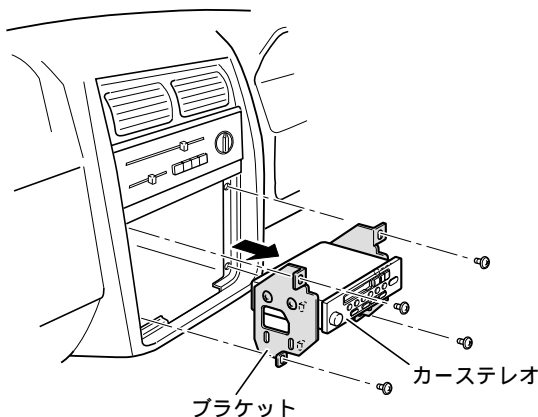
3-1

電源ハーネスの接続

別売のバイオニア製電源ハーネスを使用すると、簡単に各電源を確保することができます。

1 車両のセンターパネルおよびカーステレオを取り外す

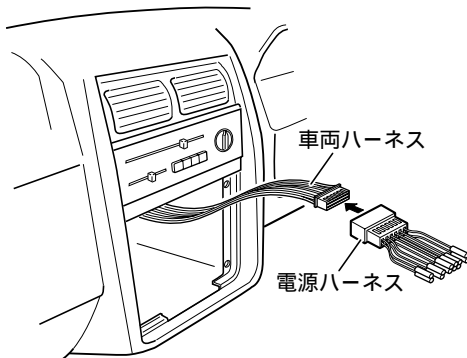
センターパネル、およびカーステレオを取り外します。



i 取り外すネジの位置や車両ハーネスなどは、車種により異なります。詳しくは、車をお買い上げの販売店にご相談ください。

2 ハーネスを接続する

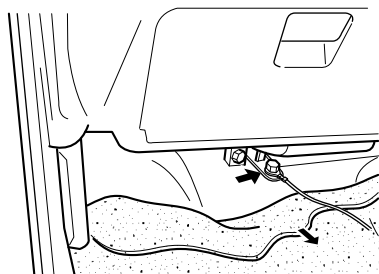
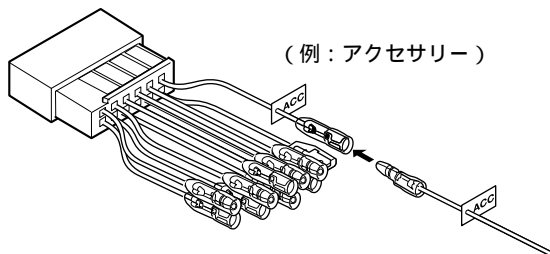
車両ハーネスに、電源ハーネスを接続します。



i 純正のカーステレオを接続する場合は、市販の電源ハーネスをお使いください。

3 バッテリー電源、アクセサリ電源、アースをそれぞれ接続する

各リード線に付いている表示に合わせて、電源を接続します。



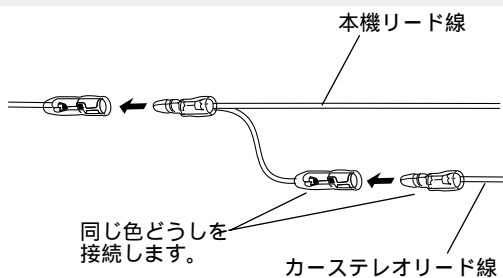
アース
車のボディの金属部に確実に接続する。

ご注意 赤リード線 (アクセサリ電源) は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

i 電源ハーネスによっては、本機の示しているリード線の名称と異なる場合があります。各説明書をご覧になり、正しく接続してください。

純正以外のカーステレオをご使用の場合は、既に電源ハーネスを使用して接続されています。一度外してカーステレオ用と本機用に二股にします。

リード線にはそれぞれ表示がついているので、各電源を接続します。



3 接続する

つづく

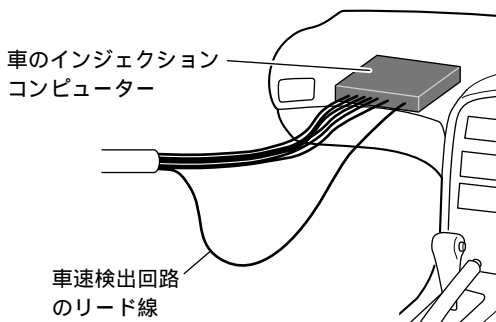
3-2

車速検出回路への接続

本機には、車速検出回路の信号を計算し、現在の走行距離を測定するシステムが搭載されています。このシステムによって、常に正確な自車位置を求めることができます。

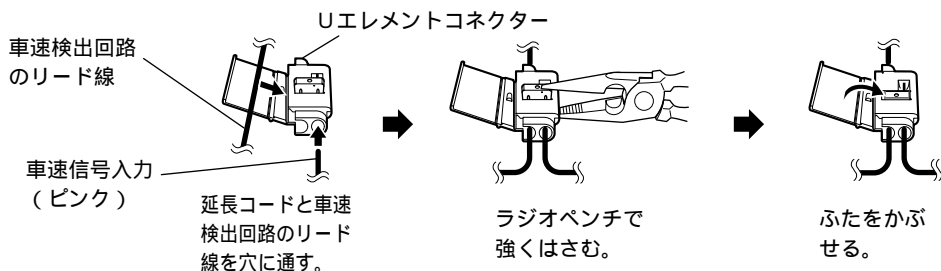
車速検出回路への接続は、車のインジェクションコンピューターから出ている車速信号線に、本機に付属のUエレメントコネクターを用いて接続します。

1 インジェクションコンピューターで 車速検出回路のリード線の位置を確認する



i インジェクションコンピューターの車速検出回路の位置は、車種によって異なります。詳しくは、車をお買い上げの販売店にご相談ください。

2 付属のUエレメントコネクターで 車速検出回路のリード線に車速信号入力（ピンク）を接続する



ご注意 必ず付属のUエレメントコネクターを使用してください。指定以外の物を使用すると接触不良の原因となります。

i 車速信号入力(ピンクリード線)は、内蔵の3Dハイブリッドセンサーの精度を上げるためのリード線です。必ず接続してください。

3Dハイブリッドセンサー

自立航法による現在地測位（走行距離、自車の向き、路面の傾斜角度をそれぞれ検出）を実行するセンサー。

ピンクリード線を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式で動作し、誤差が大きくなる場合があります。（『ナビゲーションブック』「ナビゲーションのしくみ」）

ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）をお使いください。

3-3

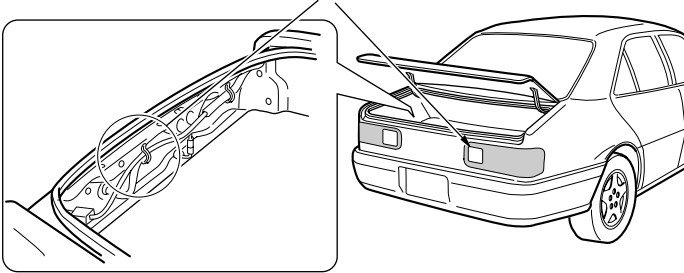
バック信号入力接続

バック信号入力を接続することで、車の前進/後退を判断し、より正確な自車位置を測定します。

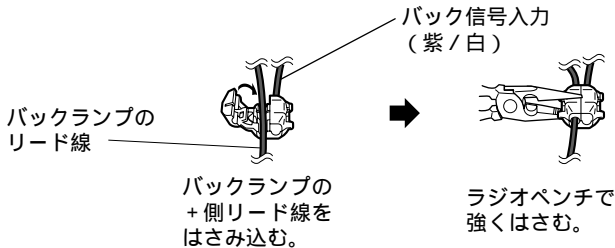
1 バックランプのリード線の位置を確認する

バックランプ(シフトレバーがリバース[R]のときに点灯するランプ)の位置を確認し、トランク内から、バックランプのリード線を取り出します。

i バックランプのリード線は、車種によって異なります。詳しくは、車をお買い上げの販売店にご相談ください。



2 バックランプのリード線にバック信号入力(紫/白)を接続する



i バック信号入力を接続しないと、前進/後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。

バックカメラを利用する場合は必ず接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。

3 接続する

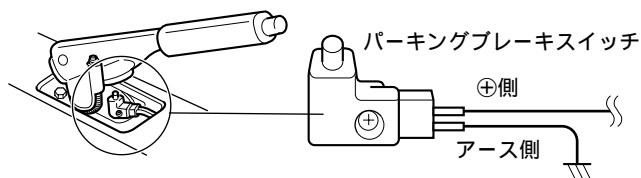
つづく

3-4

パーキングブレーキの接続

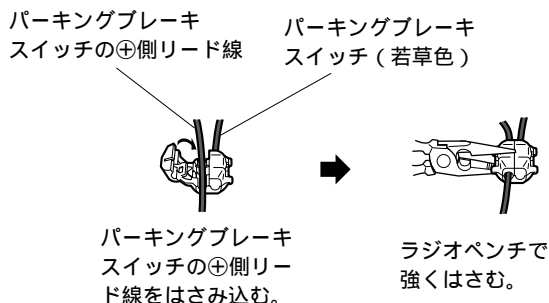
カーナビゲーションシステムは、安全のためにパーキングブレーキをかけないと動かないように機能を制限しています。パーキングブレーキスイッチ（若草色リード線）は、必ずパーキングブレーキスイッチの⊕側リード線に接続してください。接続しないとナビゲーションの一部の機能が使用できません。

1 パーキングブレーキスイッチの⊕リード線の位置を確認する



i パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、車をお買い上げの販売店にご相談ください。

2 パーキングブレーキスイッチの⊕リード線にパーキングブレーキスイッチ（若草色）を接続する



3-5

FMトランスミッターの引き直し

FMトランスミッター機能を利用すれば、本機の音声カーステレオのスピーカーから出力することができます。

FMトランスミッター用送信アンテナには、何も接続しない状態で、カーステレオのFM電波の受信状態が良くなる場所へ引き回してください。

i アンテナコードからは、できるだけ離して設置してください。また、他のコードと一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

FMトランスミッター用送信アンテナ（青 / ピンク）の引き直しによっては、雑音が発生したり、感度が悪くなることがあります。その場合、FMトランスミッター用送信アンテナ（青 / ピンク）を引き直してください。

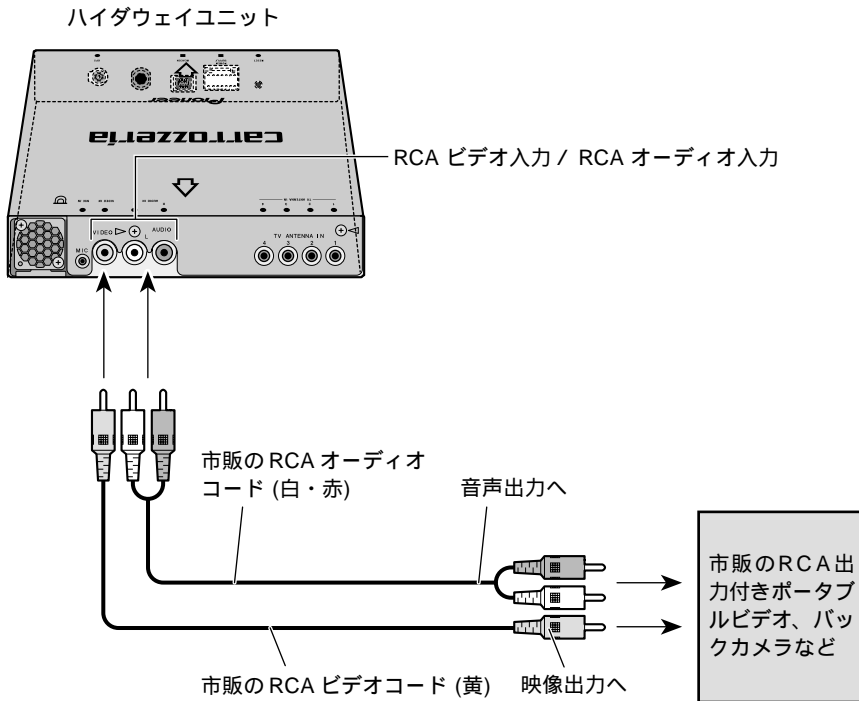
3-6

RCAビデオ/オーディオ入力を接続する

RCA出力付きポータブルビデオ、バックカメラなどを接続すると、その映像や音声を楽しむことができます。

RCAビデオ/オーディオ入力に接続したときは、「TVメニュー」の「外部入力設定」を「VTR」にしてください。「VTR」にすると、接続した製品の映像や音声に切り換わるようになります。(『スタートブック』)

バックカメラを接続し、シフトレバーをリバースの位置にすると後方の映像を表示させることができます。接続したときは、「TVメニュー」の「外部入力設定」を「バックカメラ」にしてください。(『スタートブック』)



i 接続する製品の端子の形状に合わせて、各種変換コードをお使いください。
接続するときは、本機および接続する製品の電源をOFFにしてから接続してください。

接続する製品の音声がモノラル出力の場合は、音声入力のL側 (白)とR側 (赤) に接続できるように、市販の変換ケーブルをご使用ください。

3 接続する

3-7

コード類を接続する

TVアンテナ、本体、マイク、GPSアンテナ、VICS用ビーコン受信機「ND-B4」(別売)をハイダウェイユニットに仮接続します。(12~15P)

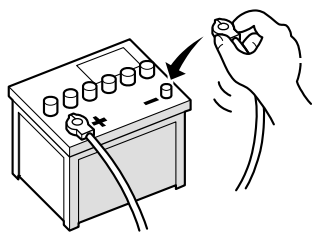
3-8

バッテリー端子を取り付ける

コード類の接続が終わったら、バッテリー端子を取り付けます。

1

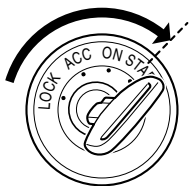
バッテリーの⊖端子を取り付ける



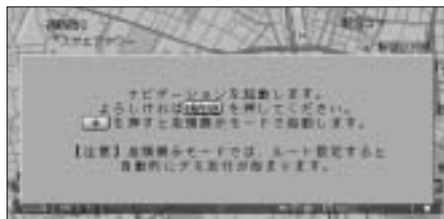
4 接続状態の確認を行う

接続が終了したら、本機を動作させて接続の確認を行ってください。また、同時にTVアンテナ、マイク、GPSアンテナなどの電波状況を調べて取り付け位置を確定してください。

1 車のエンジンをかける



2 次の画面が表示されたら〔現在地〕ボタンを押す



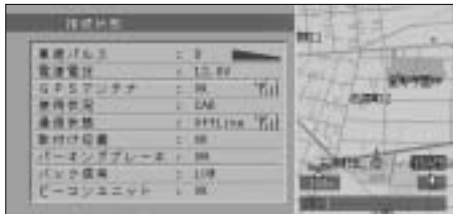
i 初期登録されていない場合は、「ユーザーID」、「初期登録番号」入力画面が表示されます。『スタートブック』をご覧になり、「ユーザーID」、「初期登録番号」を入力してください。

〔*〕ボタンは押さないでください。
この画面は、初期学習が完了していないときにエンジンをかけると表示されます。

3 地図画面で〔1〕(設定)ボタンを押す

4 「ハードウェア情報」「接続状態」を選び、〔決定〕ボタンを押す

接続状態画面が表示されます。



5 各項目の接続確認をする

車速パルス：

車速信号入力(ピンクリード線)の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると「ピッ」と発音音が生じ、数字とバーが表示されます。車速パルスの確認は、低速(時速5km程度)で行ってください。

電源電圧：

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンアイドリング時に11~15Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を再度確認してください。また、表示誤差(±0.5V程度)があるため、この表示は参考値です。

GPSアンテナ：

GPSアンテナの接続状態を確認できます。正しく接続されていれば〔OK〕が表示されます。接続状態表示の右側に表示されているアンテナのイラストでは、GPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合は、GPSアンテナの位置を変えて2本以上バーが表示される位置に取り付けてください。

使用状況：

本機の使用状況を確認できます。車載で使用している場合は、〔CAR〕が表示されます。

通信状態：

本機の通信状態を確認できます。

取り付け位置：

ハイダウェイユニットの取り付け状態を確認できます。車の振動が少ない位置にしっかりと取り付けて、停車時に [OK] が表示されるのを確認してください。

パーキングブレーキ：

パーキングブレーキスイッチ（若草色リード線）の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると [OFF] かけ直すと [ON] が表示されます。

バック信号：

バック信号入力(紫/白リード線)の接続状態を確認します。パーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでから、シフトレバーをR（リバース）の位置からR（リバース）以外の位置にすると [HIGH] と [LOW] の表示が入れ換わります。

ビーコンユニット：

VICS用ビーコン受信機「ND-B4」（別売）の接続状態を確認できます。正しく接続されている場合は [OK] が表示されます。

画面の表示が記載されているようにならなかった場合は、正しく接続されていません。もう一度、接続に間違いがないか目で見て確認し、正しく接続してください。

6 TV、ビデオなどの接続、および受信状態確認をする

TVは、受信の良い位置の確認、ビデオは接続の確認、マイクは明瞭な音質を得るための位置を確認してください。

TV、ビデオの操作は『スタートブック』を参照してください。マイクの接続確認である音声操作は『ナビゲーションブック』を参照してください。

各説明書通り画面の表示、操作ができない場合は、もう一度接続に間違いがないか目で見て確認し、正しく接続してください。正しい接続状態でも、表示や操作ができない場合は、『スタートブック』および『ナビゲーションブック』の「故障かなと思ったら」を参照してください。

7 正しく接続されていることが確認できたら、取り付けを行う

エンジンを切って、バッテリーの⊖端子を外してから、取り付け作業にお進みください。

i 「接続状態」画面の詳しい説明は『ナビゲーションブック』を参照してください。

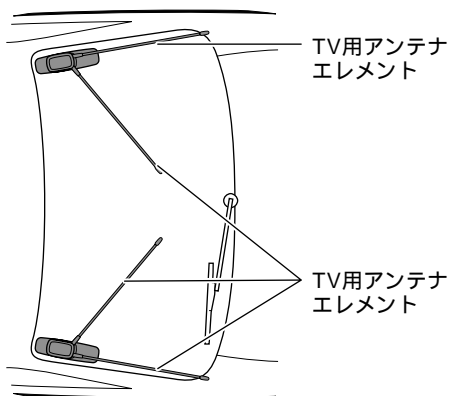
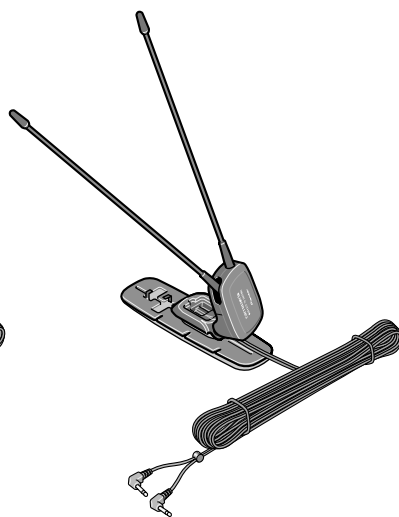
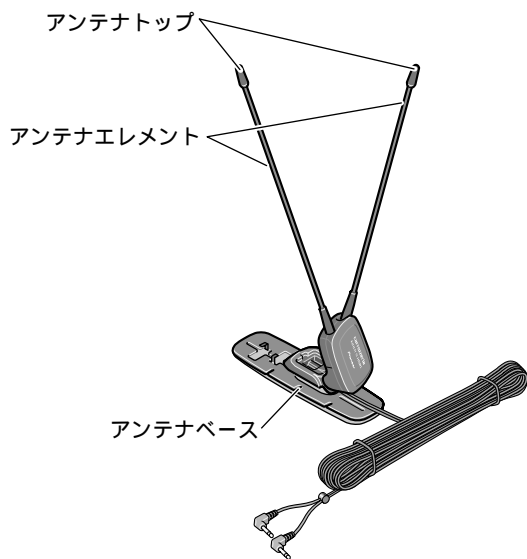
正常に動作しない場合は、リセットボタンを押してください。
(『スタートブック』)

5 TVアンテナの取り付け

各部のなまえ

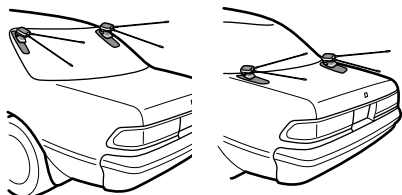
(右用)

(左用)

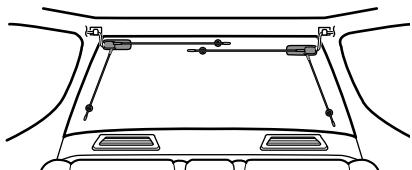


取り付け場所について

アンテナを車室外に取り付けるときは、リアガラスまたはトランクリッドに両面テープで貼り付けます。



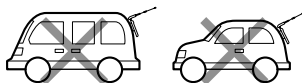
アンテナを車室内に取り付けるときは、リアガラスに両面テープで貼り付けます。



ガラスアンテナや熱線の上には絶対に取り付けしないでください。

アンテナのエレメントが車幅からはみ出ない場所、また、車の後端より後にはみ出ない場所に取り付けてください。なお、1ボックスカーや2ボックスカーの車室外のリアガラスには、絶対に貼り付けしないでください。

1ボックスカー 2ボックスカー



コード長がハイダウェイユニットまで届く距離が確認してから貼り付けてください。

取り付け上のご注意

アンテナは確実に貼り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。湿気、油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

車のボディに取り付けるときは、塗装保護シートを必ず使用してください。使用しないと車のボディの塗装をはがす原因となることがあります。

確実に貼り付けるため、取り付けは天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。気温が低いときにガラス面に取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、両面テープの接着面と取り付け場所を、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして暖めておいてください。(20 以上)

リアガラスアンテナ車の場合は、トランクリッドに取り付けてください。(リアガラスに取り付けた場合、本機の電源を入れたままカーステレオでラジオ放送を受信すると、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。)

両面テープの接着面は、指で触ったり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

取り付け後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)に当てないでください。また、高速走行など、アンテナに無理な力が加わるようなことはしないでください。

リアデフォグスイッチ
後面ガラスを暖めて曇りを取るためのスイッチ。

5

TVアンテナの取り付け

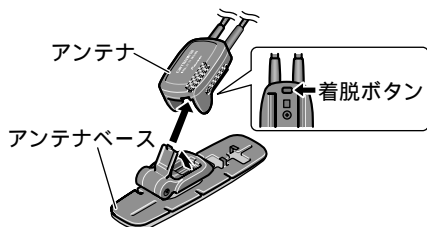
リアガラスに取り付ける場合

i トランクを開けたときに、トランクがアンテナのエレメントに当たらない位置(できるだけ高い位置)に取り付けてください。

リアワイパーの可動範囲を確認し、リアワイパーの可動範囲内には絶対に取り付けな
いでください。

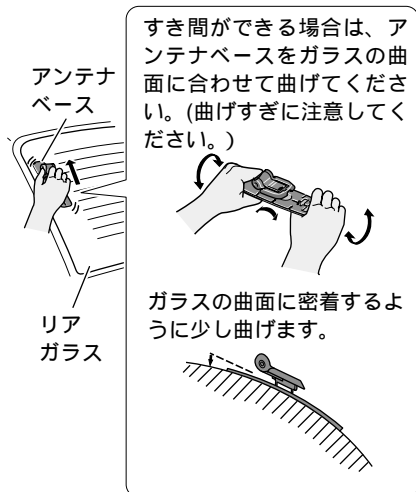
1 アンテナを外す

着脱ボタンを押し、アンテナをアンテナベースから取り外します。(39P)



2 アンテナを貼り付ける位置を決める

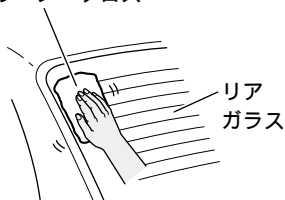
アンテナベースを裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、アンテナベースとガラス面との間にできるだけすき間のできない位置をさがします。



3 クリーナークロスで、汚れ、油などを取り除く

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。

クリーナークロス

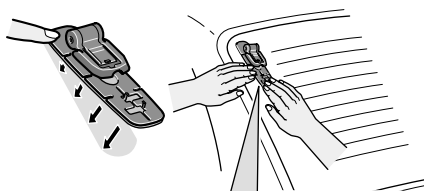


4 気温が低いときはリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォッグスイッチをONにして、リアガラスを20℃以上に暖めます。

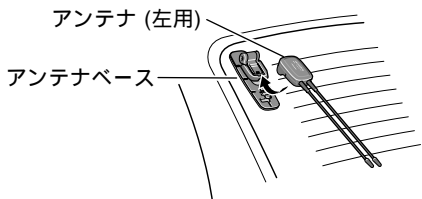
5 アンテナベースをリアガラスに貼り付ける

裏面の保護シートをはがし、先端から徐々に貼り付けます。



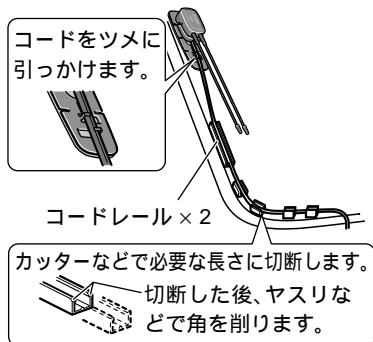
リアガラスに密着するように、指で強く押しつけてください。(貼り付けた後、空気が入っていないか車内から確認し、空気が入っていたらさらに強く押しつけてください。)

6 アンテナを取り付ける (39P)



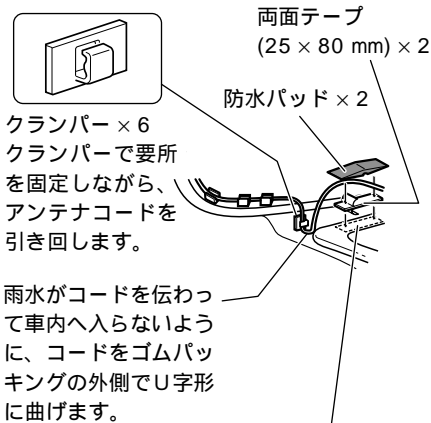
7 アンテナコードを固定する

付属のコードレールをリアガラスに貼り付け、コードを固定します。



8 アンテナコードを車内に引き込む

付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。

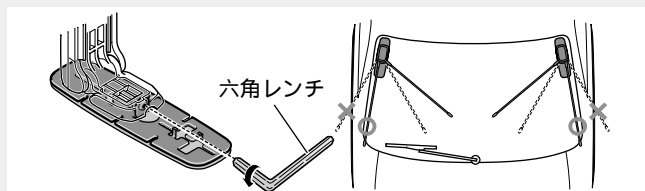


防水パッドにアンテナコードをはさみ、両面テープでゴムパッキングの上に貼り付けます。

接続・取り付け

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのぼしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

5

TVアンテナの取り付け

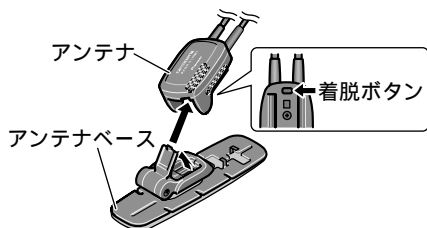
トランクリッド(車室外)に取り付ける場合

i TVアンテナが脱落する危険があるので、フッ素樹脂加工および再塗装された車のボディには貼れません。

トランクを開けたときに、アンテナのエレメントがリアガラスなどに当たらない位置に取り付けてください。

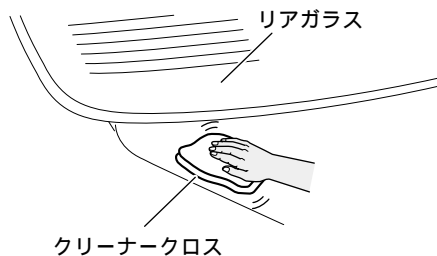
1 アンテナを外す

着脱ボタンを押し、アンテナをアンテナベースから取り外します。(39P)



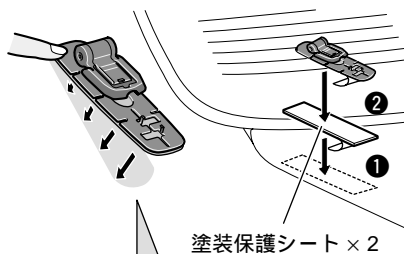
2 クリーナークロスで、汚れ油などを取り除く

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



3 アンテナベースをトランクリッドに貼り付ける

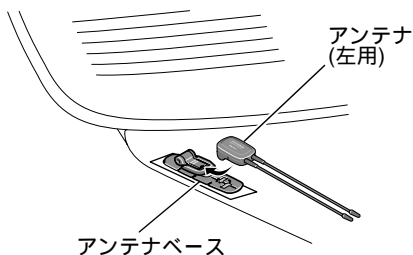
- 1 塗装保護シートをトランクリッドに貼り付けます。
- 2 塗装保護シートにアンテナベースを貼り付けます。



トランクリッドに密着するように、指で強く押しつけてください。

i 塗装保護シートを必ず使用してください。使用しないと車のボディの塗装をはがす原因となることがあります。

4 アンテナを取り付ける (39P)



5 アンテナコードを 車内に引き込む

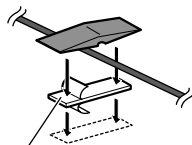
付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。

雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

コードをツメに引っかけます。

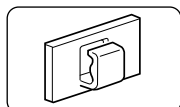


防水パッド × 2
防水パッドにアンテナコードをはさみ、両面テープでトランクリッドの裏側に貼り付けます。



両面テープ
(25 × 80 mm) × 2

トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当るようにします。



クランパー × 6
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのびたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

5

TVアンテナの取り付け

車室内に取り付ける場合

⚠️ 必ずお守りください

エレメントの先端は、必ず付属のホルダーで固定してください。外れた状態でご使用になると、アンテナが脱落したり、エレメントの先端でケガをする場合があります。

設置後は、幼児のいたずらにご注意ください。思わぬケガの原因となる場合があります。

i

電波の強い地域（首都圏中心部）ではTVアンテナを車室内に取り付けられない場合があります。電波の弱い地域では車室外に取り付けてください。

車室内に取り付けた場合、車室外に取り付けた場合と比較してテレビの映りが悪くなります。テレビの映りが悪い場合はアンテナを車室外に取り付けてください。

TVアンテナの受信状態をできるだけ良くするために、下図のようにリア（リアハッチ）ガラスにTVアンテナを下向きに取り付けることをおすすめします。また、できるだけエレメントをのぼして取り付けてください。

断熱ガラスを使用した車および熱線遮断フィルムを使用した車では、その一部に電波を通しにくい種類のものがあり、受信できないことがあります。お車のガラス、フィルムの種類をお確かめください。

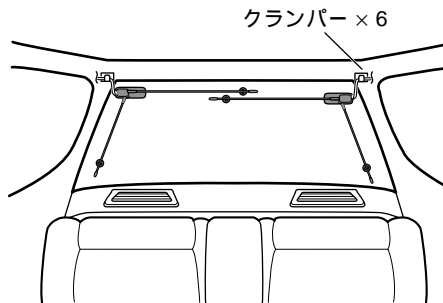
フロントガラスや運転の妨げになるガラスへ取り付けないでください。

車のガラスの大きさや角度により取り付けができない場合があります。アンテナを取り付ける前に確認してください。

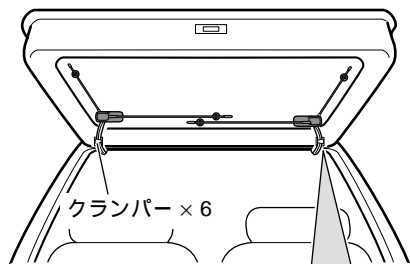
取り付けの際は、ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20 mm以上あけてください。ガラスの端に近づけすぎると、テレビの映りが悪くなる場合があります。車のラジエーターファンのモーターや、ヒーターのモーターなどからノイズが飛び込み、映像が影響を受ける場合があります。

熱線の上には貼り付けしないでください。取り外した際に熱線が切れる場合があります。

例1：リアガラスへの取り付け



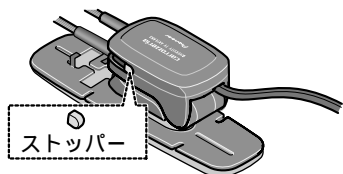
例2：リアハッチガラスへの取り付け



ハッチの開閉の際に、ケーブルが引っ張られたりじゃまにならないように、クランパーを使用して要所を固定してください。

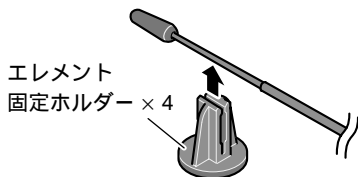
1 ゴムのストッパーを取り外す

ゴムのストッパーを外します。



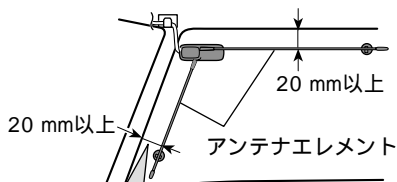
2 エレメント固定ホルダーをアンテナに取り付ける

各エレメントの先端部にエレメント固定ホルダーを取り付けます。



3 アンテナを貼り付ける位置を決める

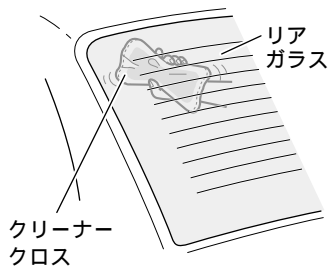
アンテナベースとエレメント固定ホルダー裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、取り付ける位置を決めます。



ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20 mm以上あけてください。ガラスの端に近づきすぎると、性能を十分に発揮できない場合があります。

4 クリーナークロスで、汚れ油などを取り除く

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。

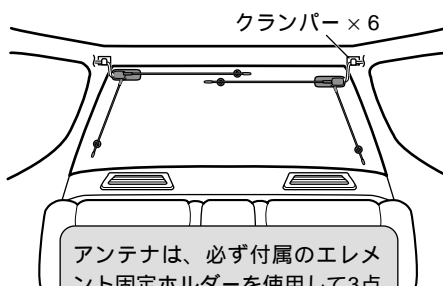


5 気温が低いときはリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして、リアガラスを20 以上に暖めます。

6 アンテナを取り付ける

アンテナベースとエレメント固定ホルダー裏面の保護シートをはがし、アンテナを固定します。次に付属のクランパーを使用して、アンテナケーブルを固定します。(36P)

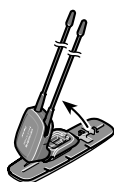


アンテナは、必ず付属のエレメント固定ホルダーを使用して3点で固定してください。

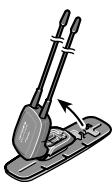
5 TVアンテナの取り付け

アンテナの使いかた

1 アンテナを 起こす

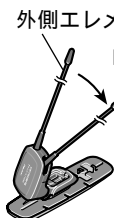


右用

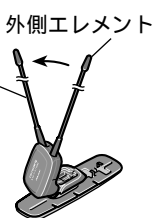


左用

2 内側エレメントを 横にずらす

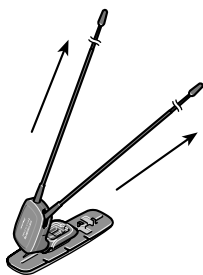


右用

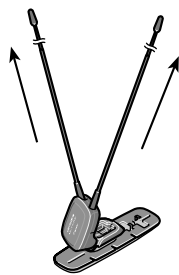


左用

3 アンテナエレメントを いっぱいのにぼす



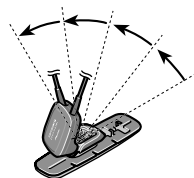
右用



左用

4 アンテナ角度を 調節する

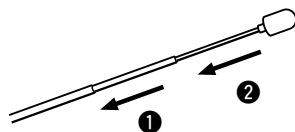
アンテナの角度は、5段階に設定できます。受信感度の良い角度に調節してください。



水平よりやや上向きに調節してください。

アンテナエレメントを収納 する際のご注意

エレメントの太い部分から順に収納してください。先端は細くなっていますので、ていねいに扱ってください。

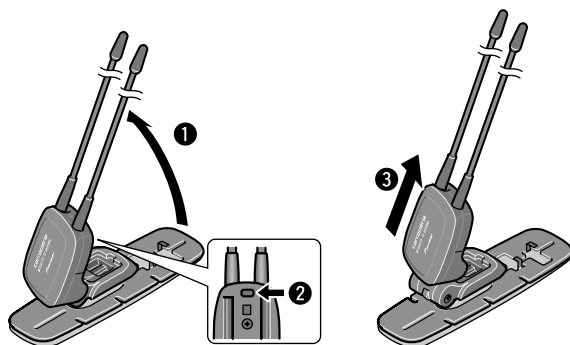


アンテナの着脱のしかた

自動洗車機で洗車するときや長時間駐車する場合は、アンテナを取り外しトランク内に収納してください。

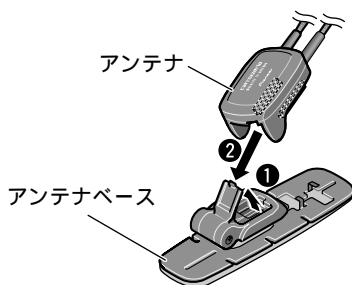
アンテナの外しかた

- ① アンテナを起こして、
- ② 着脱ボタンを押しながら、
- ③ アンテナを矢印の方向にスライドさせます。



アンテナの取り付けかた

- ① アンテナベースの取付部を持ち上げて、
- ② アンテナベースの取付部にアンテナの裏側の溝を差し込みます。（“カチッ”と音がすることを確認してください。）



アンテナの取り扱い上のご注意

アンテナおよびアンテナコードは、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品で拭かないでください。表面が侵されることがあります。

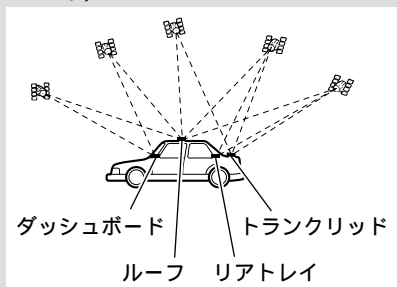
エレメントにゴミや汚れが付着し、スムーズに伸縮しなくなった場合は、ねり状ワックスなどでエレメントの金属部分をみがいてください。

アンテナのエレメントにアクセサリなどの飾りを付けしないでください。無理な力をかけると、エレメントが折れ曲がったり、アンテナが脱落する恐れがあります。

6 GPSアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどでさえぎられない場所に水平に取り付けてください。(どの方向からも電波が受信できるように、できるだけ車外のルーフやトランクリッドに取り付けてください。)



GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。

GPSアンテナを車内に取り付ける場合は、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。

付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。

GPSアンテナは、本体およびハイダウェイユニットから30cm以上離して設置してください。また、あまったGPSアンテナコードをまとめて置くと、本体およびハイダウェイユニットから30cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下してしまいます。

GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。アンテナに付いている磁石が強力なため、コードが抜けてしまうことがあります。

GPSアンテナは磁石で取り付けます。アンテナを車のボディに取り付ける場合は、ボディを傷つけないように慎重に取り付けてください。

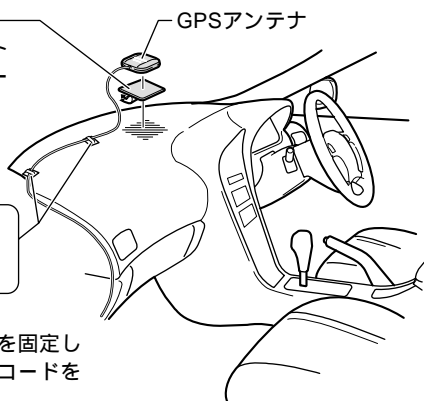
GPSアンテナを車外に取り付けた場合、自動洗車機で洗車するときは、アンテナを取り外して車内にしまってください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。

車室内(ダッシュボードやリアトレイの上)に取り付ける場合

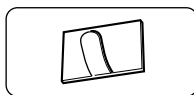
なるべく水平な場所、またはアンテナがウィンドの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

アンテナの取り付け位置は[接続状態]画面(28P)を参考に、十分に受信でき、さらにコード長がハイダウェイユニットに届く位置に取り付けてください。

金属シート
必ず使用してください。裏面の保護シートをはがして貼り付けます。なお、金属シートは切らずにそのままお使いください。



i 車のウィンドガラスの一部に、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けたときに、GPS衛星からの電波を受信しにくい場合は、一度アンテナを車外に取り付けてみてください。

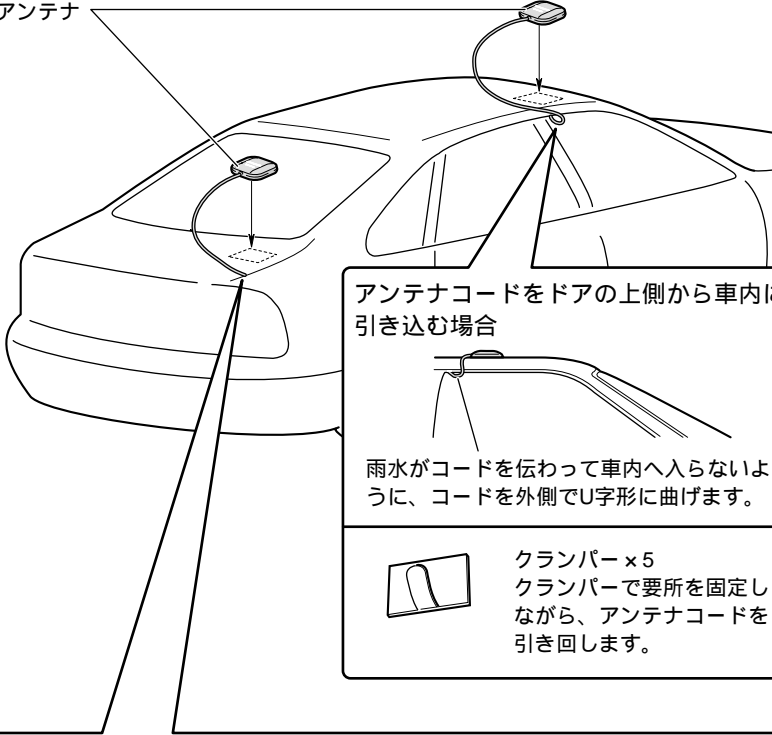


クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

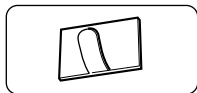
車室外 (車のボディ) に取り付ける場合

車のルーフやトランクリッドの、なるべく水平な場所で、さらにコード長がハイダウェイユニットに届く場所にGPSアンテナを置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

GPSアンテナ

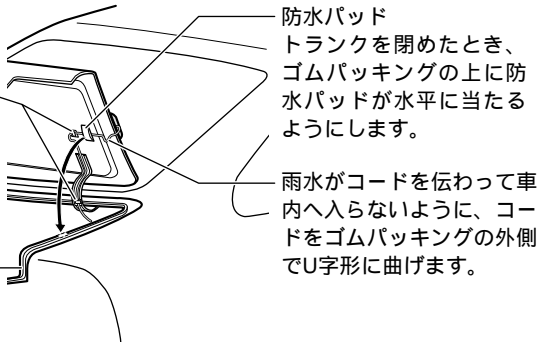


アンテナコードをトランク内に引き込む場合



クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

ゴムパッキング



7 マイクの取り付け

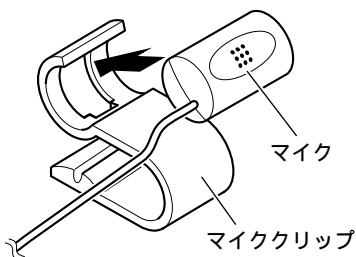
取り付け上のご注意

音声操作時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。

サンバイザーにはさんで取り付ける場合

コード長がハイダウェイユニットまで届く距離が確認してから取り付けてください。

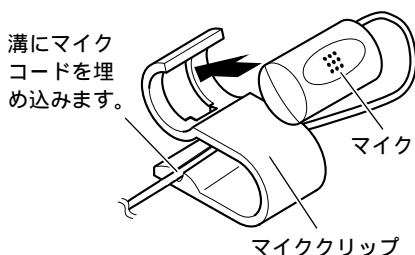
1 マイククリップにマイクを取り付ける



ステアリングポストに取り付ける場合

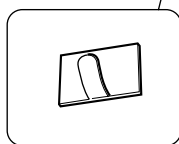
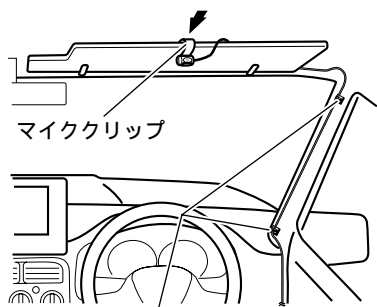
コード長がハイダウェイユニットまで届く距離が確認してから取り付けてください。

1 マイククリップにマイクを取り付ける



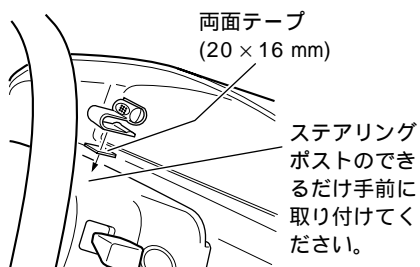
2 サンバイザーにマイククリップを取り付ける

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、正しく音声認識されません。

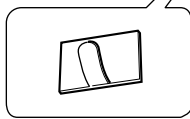


クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、マイクコードを引き回します。

2 ステアリングポストにマイククリップを取り付ける

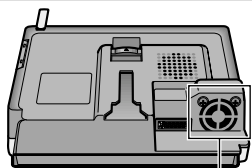


クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。



取り付け上のご注意

放熱を妨げないために、下図の部分に塞がないように配置してください。



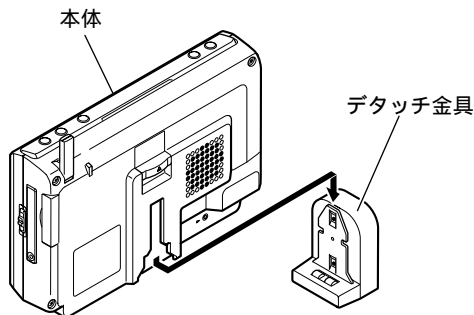
この部分を塞がないでください。

エアコンの吹き出し口からの送風が本体に直接当たらない場所に配置してください。高温による動作不具合や故障の恐れがあります。

ダッシュボード上に取り付ける場合

ダッシュボードの上に置いた本体を、取付金具で固定します。ハイダウエイユニットの30ピン接続ケーブルが届く距離を確認してから取り付けてください。

1 本体にデタッチ金具を取り付ける

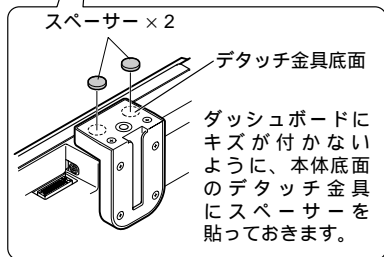
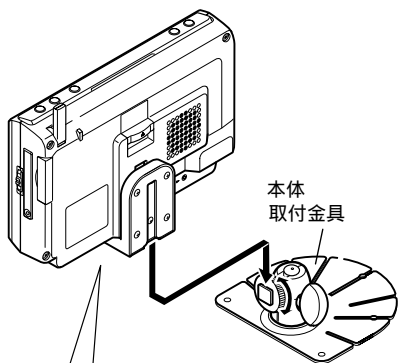


8 本体の取り付け

つづく

ダッシュボード上に取り付ける場合

2 本体に取付金具を取り付ける



⚠ 警告

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

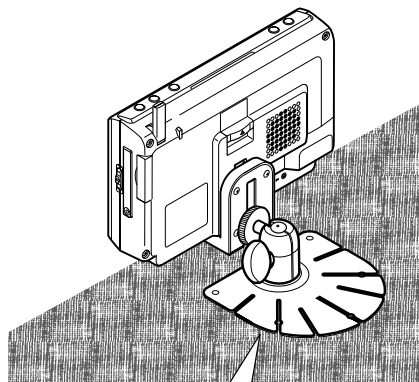
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

3 本体を取り付ける位置を決める

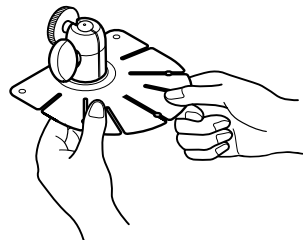
本体取付金具の裏側の保護シートをはがさずに、ダッシュボードに当て、本体を取り付ける位置を決めます。

次の場所を選んでください。

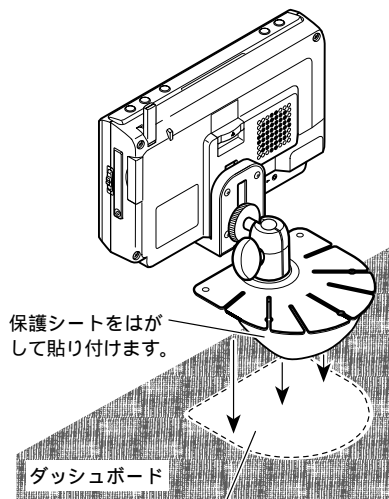
- * 運転の妨げにならない場所。
- * エアバッグなど車の安全装置の妨げにならない場所。
- * 本体を傾けてもフロントガラスに当たらない場所。
- * デタッチ金具の底面がダッシュボードに当たる場所。



ダッシュボードの形状に合うように、曲げてください。



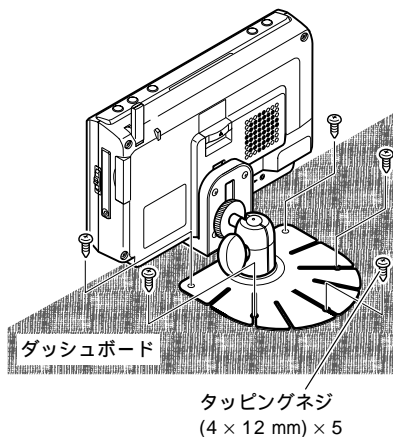
4 本体をダッシュボードに 貼り付ける



本体を貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。

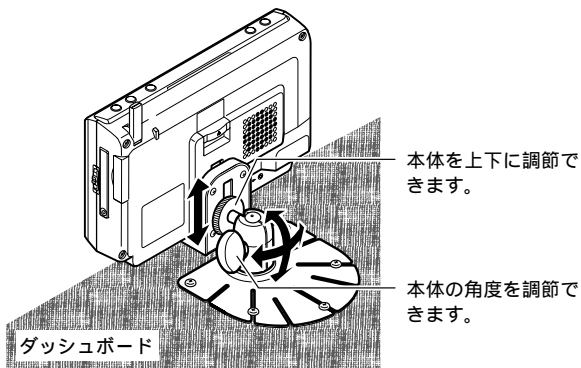
5 タッピングネジで 固定する

タッピングネジで、本体取付金具をダッシュボードにしっかりと固定します。



6 本体の底面がダッシュボードに 当たるように 調節する

本体を安定させるため、デタッチ金具の底面がダッシュボードに当たるように（本体をダッシュボードの上に置くように）、上下の高さを調節してください。また、本体を見やすい角度に調節してください。本体は、下から見ると明るく見え、上から見ると暗く見えます。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

8

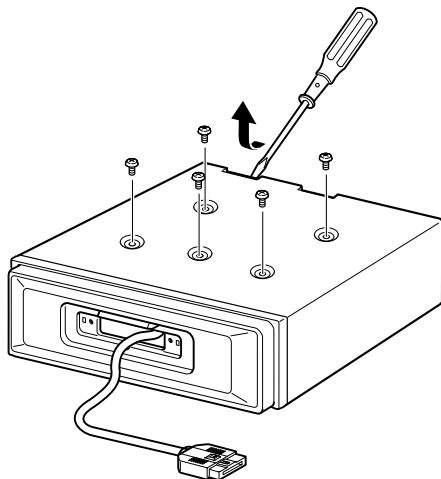
本体の取り付け

別売の「AD-V808」を使用してコンソールに取り付ける場合

別売の1Dサイズ取付金具「AD-V808」を使って、本体をコンソールに取り付けることができます。

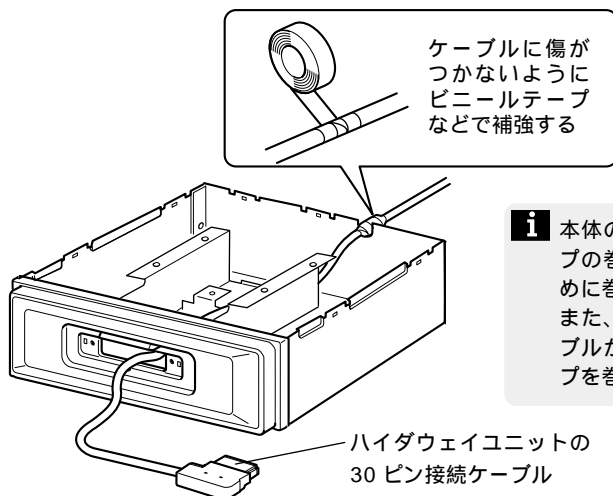
1 AD-V808の裏ブタを外す

裏ブタを止めているネジを外し、マイナスドライバーで開きます。



2 ケーブルを入れ換える

中に入っているケーブルをハイダウェイユニットの30ピン接続ケーブルと入れ換えます。



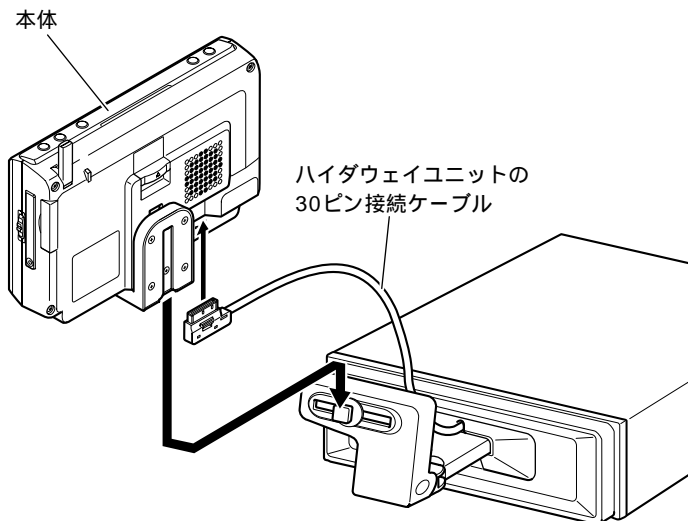
ケーブルに傷がつかないようにビニールテープなどで補強する

i 本体の取り付け位置を考慮して、テープの巻き位置を決めます。巻き幅は広めに巻いてください。
また、内部の金属部材の切断面にケーブルが当たる場合は、その部分にもテープを巻いてください。

ハイダウェイユニットの
30ピン接続ケーブル

3 本体を接続し、 取り付ける

アーム部のアンダーカバーを外します。本体をハイダウェイユニットの30ピン接続ケーブルに接続し、アームに取り付けます。



4 本体を固定し、 微調整する

本体の位置を調節してアームを固定します。アンダーカバーを取り付けた後、本体の向きや角度を調節してください。

⚠ 注意

裏ボタンなどの角で手や指を傷つけないように十分ご注意ください。

自宅に持ち込む場合など、本体を取り外したあとは、30ピン接続ケーブルが運転操作の妨げにならないようにしてください。

9 ハイダウェイユニットの取り付け

取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。

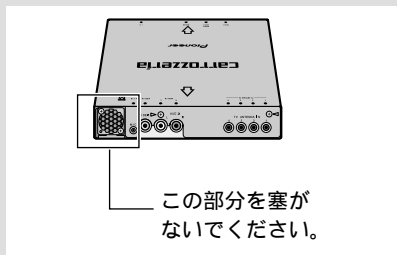
- * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかけやすい場所には取り付けしないでください。

しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。しっかり固定されていないと、現在地を正しく表示できなくなります。

スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。

放熱を妨げないために、下図の部分を塞がないように配置してください。



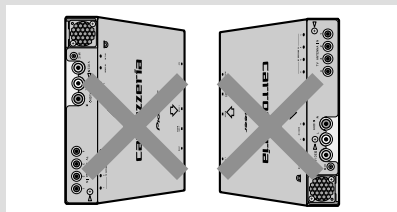
荷物などが当たる場所には取り付けしないでください。強い衝撃が加わると、現在地を正しく表示できなくなります。

スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。

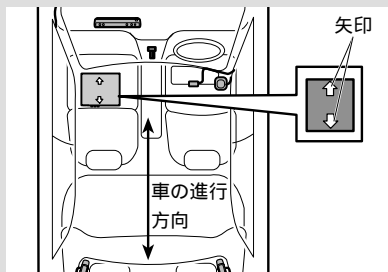
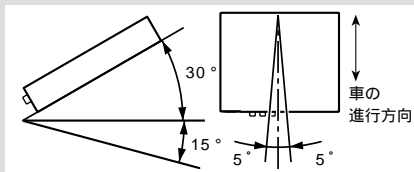
ハイダウェイユニット天面の矢印が、車の進行方向と同じになるように取り付けてください。矢印が進行方向に対して直角または斜めには取り付けしないでください。正しく取り付けられていないと、現在地を正しく表示できなくなります。

ハイダウェイユニットを設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が動き動作停止することがあります。このような場所には取り付けしないでください。

縦置きしないでください。故障の原因となります。また、裏返して取り付けしないでください。



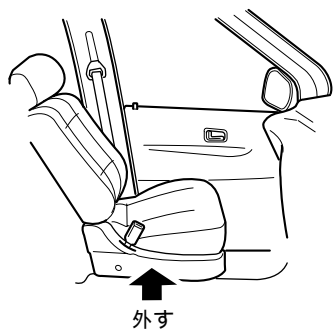
ハイダウェイユニットの性能を十分に発揮するために、上下の傾きはできるだけ水平に取り付けてください。傾けて取り付けの場合は、水平に対して上の傾き30度以内、下の傾き15度以内の角度で取り付けてください。左右の傾きは車の進行方向に対してハイダウェイユニットの前面から5度以内の角度で取り付けてください。



9-1

シートを外す

ハイダウェイユニットの取り付けを始める前に、助手席のシートを外しておくことで効率よく作業ができます。作業を安全に、確実にを行うためにも作業スペースを確保しておきましょう。



ご注意

シートの外し方がわからない場合は、必ず車をお買い上げの販売店に相談してください。また、シートを元に戻すときは、しっかり取り付けてください。正しく取り付けられていないと、事故の原因となる可能性があります。

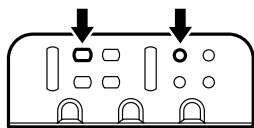
9-2

取付アングルを取り付ける

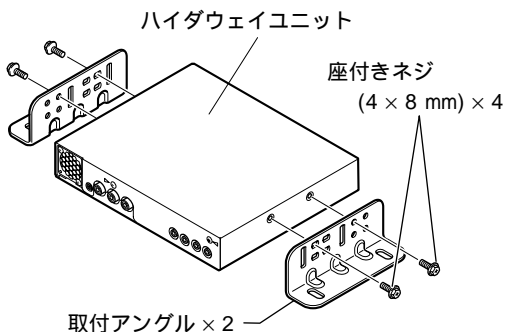
1 取付アングルをハイダウェイユニットに取り付ける

ハイダウェイユニットを車の助手席下などの床や取付ボードに取り付けるには、取付アングルをハイダウェイユニットに取り付けます。

取付アングルの次の穴を使用します。



他の穴についても、アングルの位置を平行にずらしてセットしたときに、ハイダウェイユニットの穴と重なれば使用できます。

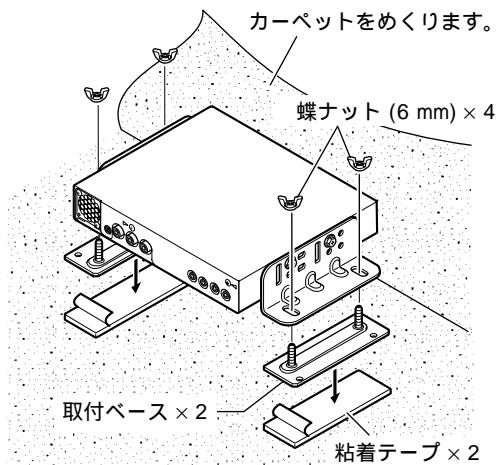


9 ハイダウェイユニットの取り付け

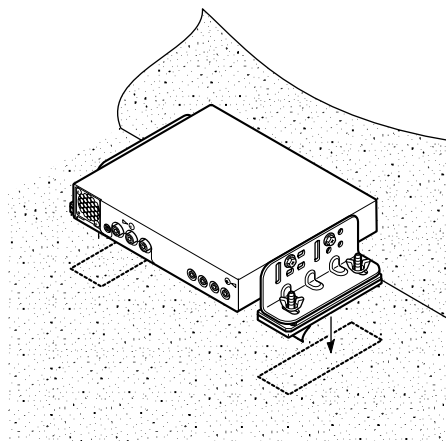
9-3

助手席などの下に取り付ける場合

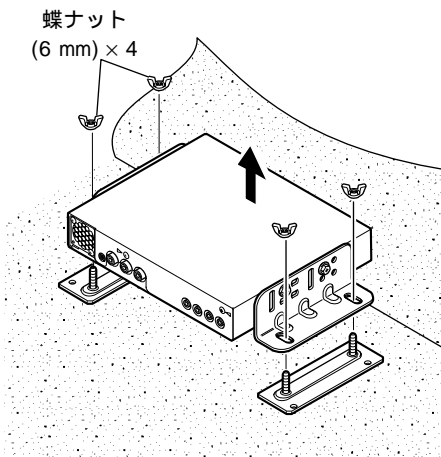
1 取付アングルに取付ベースを取り付ける



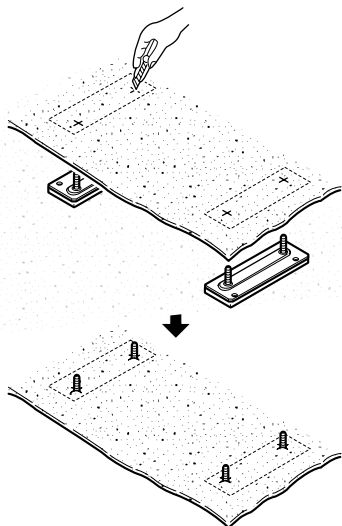
2 取り付け位置を決め、粘着テープを貼る



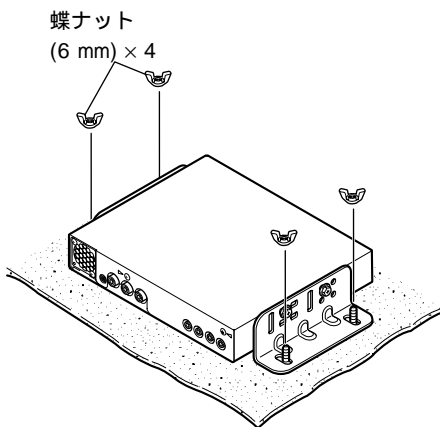
3 蝶ナットを外し、ハイダウェイユニットを一度取り外す



4 カーペットを元に戻し、ネジ部をカーペットの上に出す



5 ハイダウェイユニットを取り付け、しっかり固定する

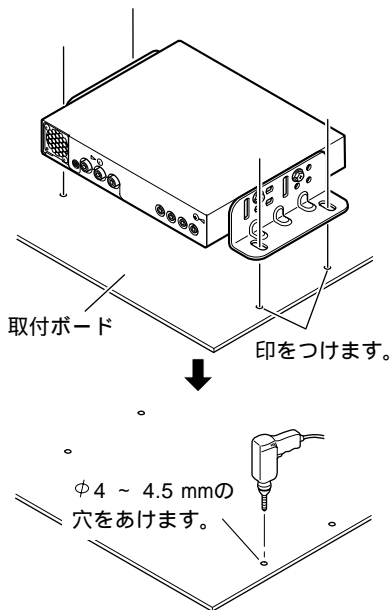


9 ハイダウェイユニットの取り付け

9-3

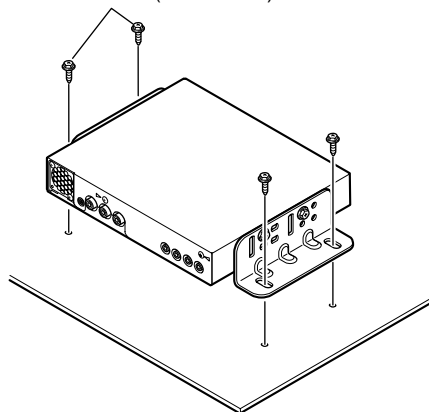
助手席などの下に取り付ける場合（取付ボード使用）

1 取り付け位置を決め、
穴を開ける



2 タッピングネジで、
しっかり固定する

タッピングネジ (6 × 16 mm) × 4



10 コード類の接続・整理・再確認 つづく

10-1

接続する

すべての取り付けが終了したら、ハイダウェイユニットにコードを接続します。すぐ抜けてしまわないように、しっかり接続してください。

10-2

コードを隠す

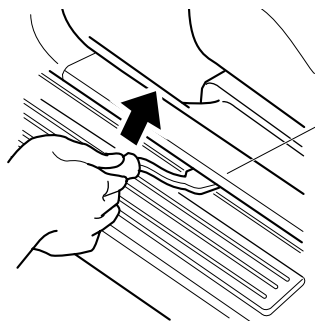
最後に配線がむき出しの状態にならないように隠します。

コード類を隠すためのポイントは、以下の2点です。

車両のシート下、サイドステップ、ドアやフロントガラスのすきまなどにコードを引き回し、目立たなくする

ノイズを防ぐためにコード類はお互いに近づけない

車両のリア部に取り付けたアンテナコード類はサイドステップを引き回すと目立たなくなります。



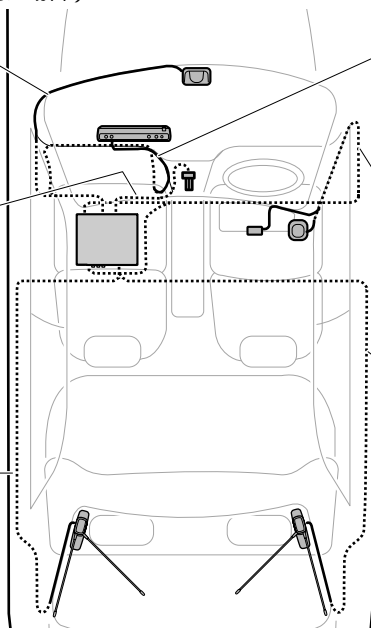
サイドステップの中にアンテナコードを引き回します。

コードの引き回し例（上から見た場合）

フロントガラスのすきまやドアのすきまを利用します。

コードの余った部分は、シート下などに束ねます。

TV アンテナのコードはサイドステップを引き回します。



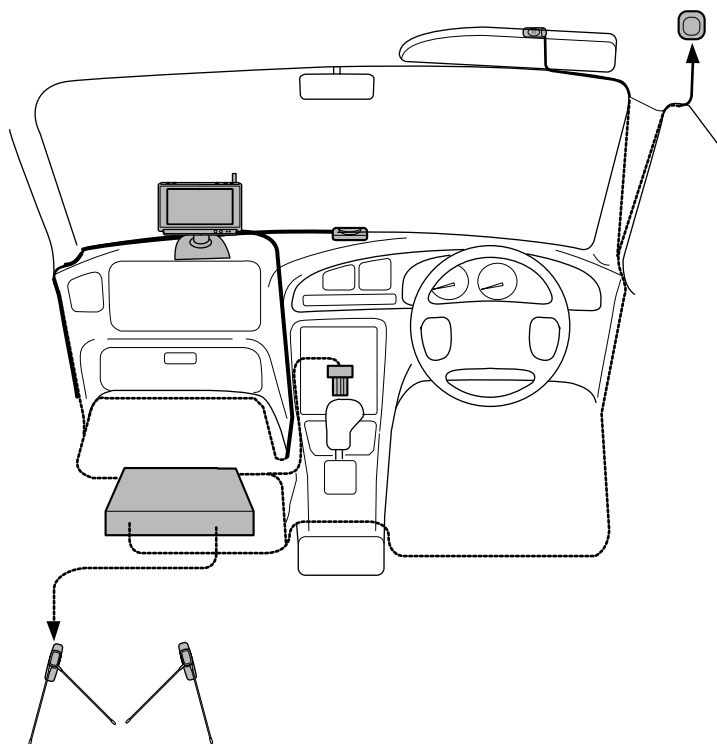
本体とハイダウェイユニット間は、付属のクランパーを使ってしっかり固定します。

付属のクランパーを使って要所を固定しながら配線します。

ノイズを防ぐため、両方のサイドステップを引き回します。

10 コード類の接続・整理・再確認

コードの引き回し例（リア部から見た場合）



i ノイズ防止のため、次のものは本体やハイダウェイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- * TVアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * ビーコン受信機およびそのアンテナコード

それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

10-3

シートを戻す

コードの引き回しが終わったら、取り外したカーステレオを元に戻し、シートを元に戻します。

10-4

取り付け状況の再確認

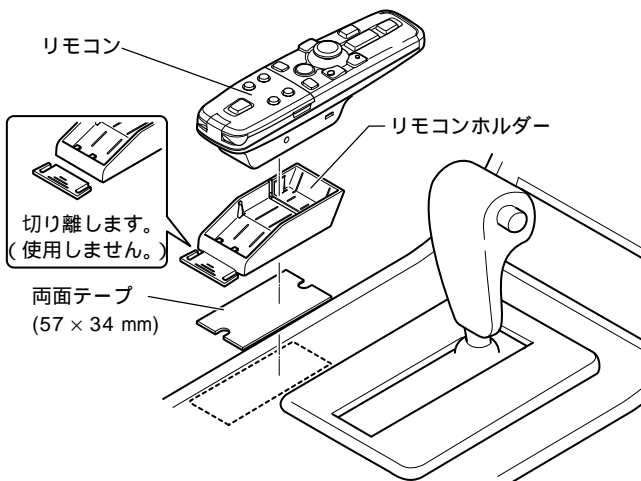
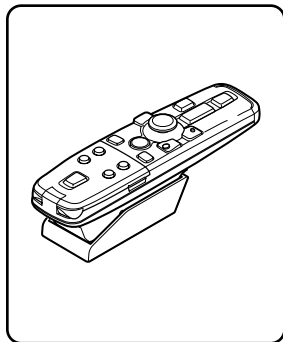
本機の実付けがすべて終了した時点で、もう一度バッテリーの⊖端子を実付け、エンジンをかけて動作確認を行いましょ。 (28P)

11 リモコンの取り付け

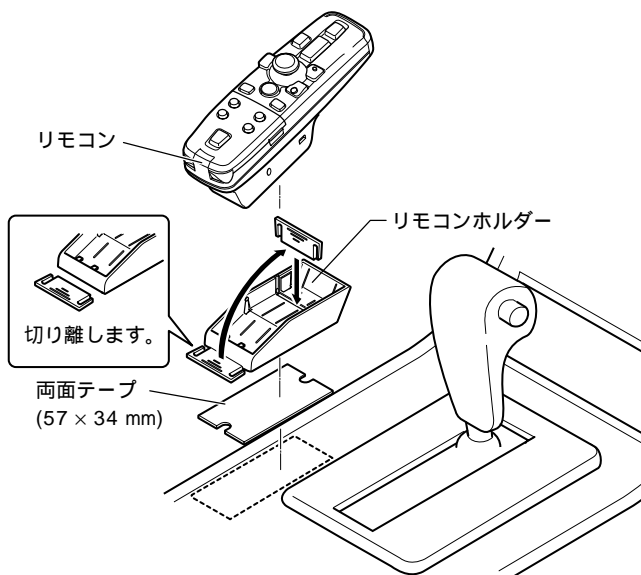
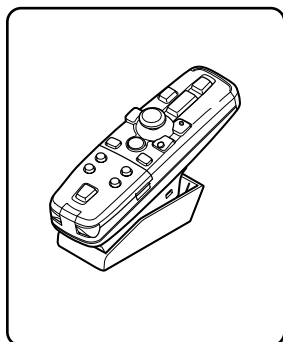
両面テープで取り付ける場合

付属の両面テープ (57 × 34 mm) を使用して、リモコンホルダーを貼り付けます。

水平にセットする場合



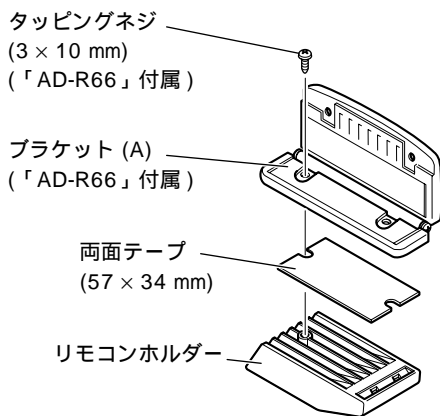
上向きにセットする場合



別売の「AD-R66」を使用して取り付ける場合

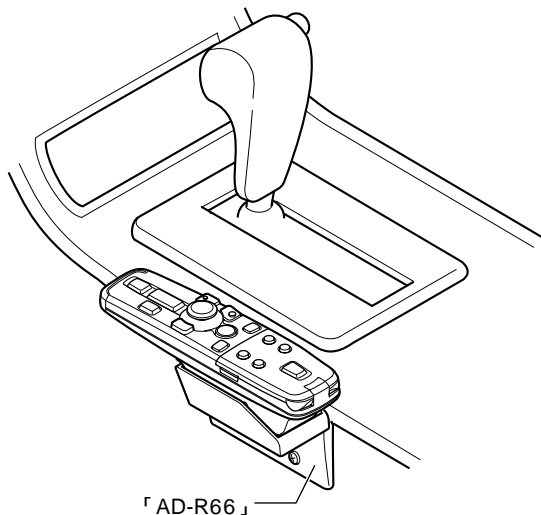
センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にリモコンの取り付けスペースがない場合は、別売のメインコントローラーアタッチメント「AD-R66」を使用して取り付けます。

1 「AD-R66」に付属のブラケット (A) に リモコンホルダーを取り付ける



2 「AD-R66」を 車に取り付ける

「AD-R66」の『取付説明書』を参照して、車に取り付けます。



センサー学習のエラーメッセージ

接続確認と各種設定を完了し、走行を開始すると本機は自動的に3Dハイブリッドセンサーの初期学習を行います。

その際、つぎのようなエラーメッセージが表示されたときは、エラーの原因を取り除いてから、〔決定〕ボタンを押して初期学習をやり直してください。

< 停車中のエラーメッセージ >

〔振動を検知しました。ハイダウェイユニットの取付け状態を変更後、〔決定〕を押してください。〕

ハイダウェイユニットに振動が伝わらないよう、ハイダウェイユニットの取付方法や取付位置を変更してください。

< 走行開始後のエラーメッセージ >

〔車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。〔決定〕を押してください。〕

ピンクリード線（車速信号入力）の接続を確認してください。正しく接続した後、「学習状態」のリセットを行い、3Dハイブリッドで初期学習をやり直します。

（『ナビゲーションブック』、「タイヤを交換した場合の対処」）

〔異常が発生しました。サービスステーションに御相談ください。〕

ハイダウェイユニットの故障、劣化等が考えられます。サービスステーションにご相談ください。

〔車速パルスが異常です。接続を確認後、〔決定〕を押してください。〕

ピンクリード線（車速信号入力）の接続先を確認し、付属のUエレメントコネクタが使用されていることを確認してください。

< その他のエラーメッセージ >

〔ハイダウェイユニットの向きが間違っているか、センサーが異常です。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。〕

ハイダウェイユニットの取り付け方向を確認してください。正しく取り付けられている場合は、内蔵のジャイロセンサーの故障が考えられます。販売店、またはサービスステーションにご相談ください。

〔ハードウェアに異常が発生し、測位不能になりました。サービスステーションに御相談ください。〕

ハイダウェイユニットの故障、劣化等が考えられます。サービスステーションにご相談ください。

〔GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。〕

〔GPSアンテナが異常です。販売店またはサービスステーションに御相談ください。〕

GPSアンテナの接続を確認してください。正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店、またはサービスステーションにご相談ください。

〔車速信号線が外れました。接続を確認してください。〕

ピンクリード線（車速信号入力）の接続を確認し、付属のUエレメントコネクタが使用されていることを確認してください。正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店、またはサービスステーションにご相談ください。

